

## 令和元年度 第1回 平群町地域公共交通会議 議事次第

日時：令和元年6月24日（月）14：00～  
場所：商工会館 2階会議室

### 1 開会

### 2 議事

議案第1号 平成30年度 事業報告

【資料-1（P1）参照】

《事業報告資料》

1. 平成30年度第1回平群町地域公共交通会議 議事要旨

【資料-2（P2-7）参照】

2. コミュニティバスの平成30年度利用実績報告

【資料-3（P8-20）参照】

3. 公共交通イベント実施報告

【資料-4（P21）参照】

4. コミュニティバス利用者ヒアリング調査実施報告

【資料-5（P22-40）参照】

5. 視察研修報告（和歌山県みなべ町・滋賀県高島市）

【資料-6（P41-47）参照】

議案第2号 平成30年度 平群町地域公共交通会議 収支決算報告

議案第3号 令和元年度事業計画（案）

議案第4号 令和元年度予算（案）

議案第5号 コミュニティバス1ヶ月フリー乗車券廃止について

【資料-7・8・9・10（P48-51）参照】

### 3 その他

#### 【配付資料】

資料-1：平成30年度事業報告

資料-2：平成30年度 第1回平群町地域公共交通会議 議事要旨

資料-3：平成30年度コミュニティバス利用実績（H30年度実績）

資料-4：公共交通イベント実施報告

資料-5：利用者ヒアリング調査実施報告

資料-6：視察研修報告（和歌山県みなべ町・滋賀県高島市）

資料-7：平成30年度平群町地域公共交通会議 収支決算書

資料-8：令和元年度事業計画（案）

資料-9：令和元年度予算（案）

資料-10：コミュニティバス1ヶ月フリー乗車券廃止について

## 平成 30 年度 事業報告

## 1. 改善検討・関係機関協議等

## ●平群町地域公共交通会議開催

◇第 1 回 平成 30 年 6 月 29 日（金）開催

地域公共交通会議議事要旨は、「資料－ 2」を参照。

## 2. 利用状況データとりまとめ

コミュニティバスの平成 30 年度（H30.4～H31.3）の利用実績の集計・分析を行った。

コミュニティバス利用実績報告は、「資料－ 3」を参照。

## 3. 公共交通イベント実施報告

## ●無料乗車

◇実施期間 : 平成 30 年 11 月 12 日（月）～ 平成 30 年 11 月 16 日（金）の 5 日間

公共交通イベント実施報告は、「資料－ 4」を参照。

## 4. 利用者ヒアリング調査実施報告

コミュニティバスの無料乗車期間中にヒアリング調査を行い、日頃、コミュニティバスを利用しない人の理由を調査するとともに、日頃利用している人に対しては、改正された運行ルート、ダイヤに対する意見等を対面式で聞き取る調査を実施した。

◇調査対象者 : 無料乗車期間中の平群町コミュニティバス利用者

◇調査日 : 平成 30 年 11 月 12 日（月）～ 11 月 16 日（金） 全 5 日間

◇回答者数 : 605 名（西山間ルート：269 名、南北循環ルート：336 名）

うち、重複回答数は 316 名

（西山間ルート：111 名、南北循環ルート：205 名）

ヒアリング調査実施報告は、「資料－ 5」を参照。

## 5. 視察研修報告

◇視察日 : 平成 30 年 7 月 25 日（水）

◇視察地 : 和歌山県みなべ町

◇視察目的 : デマンド交通を運行している自治体の現状を把握することで、平群町での運行計画検討の参考とするため。

◇視察日 : 平成 31 年 2 月 27 日（水）

◇視察地 : 滋賀県高島市

◇視察目的 : 路線バス、コミュニティバス、デマンド交通を運行している自治体の現状を把握することで、平群町での運行計画検討の参考とするため。

視察研修報告は、「資料－ 6」を参照。

## 平成30年度 第1回平群町地域公共交通会議 議事要旨

日 時：平成30年6月29日（金）10：00～

場 所：商工会館 2階会議室

出席者：15名

- 1 開会
- 2 前回の議事概要の確認
- 3 コミュニティバスのH29年度利用実績報告
- 4 ゆめさとこども園の利用状況報告
- 5 H29年4月新設停留所の利用状況報告
- 6 無料乗車実施報告
- 7 香芝市視察研修報告
- 8 平成29年度 事業報告
- 9 議事  
議案第1号 平成29年度 平群町地域公共交通会議 収支決算報告
- 10 その他  
コミュニティバス運行評価基準について  
コミュニティバスの利用案内（案）

## 【配付資料】

- 資料-1：平成29年度 第4回平群町地域公共交通会議 議事要旨
- 資料-2：平成29年度コミュニティバス利用実績（H29年度実績）
- 資料-3：ゆめさとこども園の利用状況
- 資料-4：新設停留所の利用状況（H29年度実績）
- 資料-5：無料乗車日実施報告
- 資料-6：香芝市視察研修報告
- 資料-7：平成29年度事業報告
- 資料-8：平成29年度平群町地域公共交通会議 収支決算書
- 資料-9：コミュニティバス運行における評価基準（案）
- 資料-10：コミュニティバスの利用案内（案）

## 【議事内容】

### ○開会

会 長 : コミュニティバスは平成17年からスタートして、試行錯誤しながらやってまいりました。今年度からは2つのルートに絞り、バス2台で運行することになりました。町民の皆さんに喜んで乗っていただけるコミュニティバスを目指してしっかり取り組んでまいります。

### ○前回の議事要旨の確認

#### ○コミュニティバスのH29年度利用実績報告

#### ○ゆめさとこども園の利用状況報告

#### ○H29年4月新設停留所の利用状況報告

議 長 : 去年からイオンビッグに乗り入れたということで、利用されている方、お店の方、周辺に買い物に来られる方、苦情があれば報告していただけますか。

事務局 : 店舗から、今回のダイヤ改正に当たり、前は1日9便乗り入れがあったのが2便減ったので、できればたくさん乗り入れしていただけるようにというお話はございました。

### ○無料乗車実施報告

運輸支局 : コミュニティバスの利用促進を図るためにやったということですか。料金を考えるためという部分も含まれているのですか。

事務局 : 多くの方にコミュニティバスに乗っていただく、気軽に利用していただくという利用促進が大きな部分として実施しております。

運輸支局 : この期間はどなたでも無料という形で実施されたのですか。

事務局 : どなたでも乗っていただけるような形です。

長寿会 : 西山間ルートの月曜日と南北循環ルートの木曜日が通常期間の乗車人数よりも減っています。何か具体的な理由があるのではないですか。

バス協会 : 事務局としてはこの結果にどのような感じを持って、今後どのようにしていけるのか、そのあたりの所感を教えていただきたいです。

利用促進という意味はわかりますが、期間が短く、何か効果的なものにつながっていくのでしょうか。施策としてはいいと思いますが一過性のものでしょうか。

事務局 : 一つのイベント、目玉のような形になっていますが、続けていくことで、無料だから乗ろうかとか、1回乗ってみようかと思っただいて、少しでも利用促進につなげていければと思っております。

無料乗車は1年間に5日間だけの運行になりますので、それがいいのかどうかにつきましては考えていきたいです。

バス協会 : 無料の日に利用者数が増えるのは、無料で乗られる方が多いのですが、そうしたときに運賃の考え方が出てきますが、数字的に変化がないのでは意味があるのでしょうか。

無料乗車はいいと思いますが、次につなげていけないような施策はどのようなのですか。これが運賃の改定につなげていける参考材料になるのであればいいのですが。

コミュニティバスの存在は町の方はほとんど御存じだと思います、利用促進につなげるもっと具体的な施策がないのか。もう少しうまく生かせないのでしょうか。

ボランティア：「コミュニティバスを使っただけませんか」という話をしても、「土、日、祝日は運行していません」と。「無料もありますよ」と言いますと、それはそこには全然入っていないということをお聞きして、ああ、そういうものだったのかと思いました。

土日に違うルートを走ったら、いつも使う人とは違う人が、違うところに行って平群のよさを知ってもらえるのではないですか。

事務局：担当としてはいかに利用してもらおうかが大きなテーマです。いまできるのはその部分です。前の公共交通会議でも、無料乗車日にうまくイベントを置くことができないかという提案をいただいておりますので考えていきたいです。

土日の運行ですが、平成23年度の11月ごろから平成25年度の10月末までは運行しておりました。土日は極端に利用者が少ないということで、公共交通会議等で話し合いが持たれ、土日の運行がなくなったという経緯があります。

それにつきましては、もしやるのであれば提案させていただければと思います。

議長：前回は運輸局とか県から、乗っていただいた方に、どうフォローしていくかという提案もございました。今年度も実施していくので、これまでのご指摘も十分踏まえて、今回の無料乗車の実施日については十分、調査をしていただくようにお願いします。

バス協会から無料乗車の効果の一過性ということが出ましたが、この施策が実際に利用促進につながるのかというと、難しいところもございます。今年度も実施するので、その方法をどうしていくかは事務局で十分、検討してやっていただくということをお願いします。

平群町も大手のスーパーでも特売日、8がつく日、カードの日、ポイントが3倍日とか、そういうメニューがたくさんあって、その日はどこの駐車場も多いです。それがコミバスにすぐに当てはまるか難しいですが、いろいろなことも考えて利用促進をしていく、この中でもそのあたりの議論をよろしくをお願いします。

#### ○香芝市視察研修報告

議長：デマンド導入については前回、各方面からいろいろな意見をいただきまして、全部、消化できていないので、そのあたりもきちっと整理して、デマンド導入についての議論に生かしていきたい。まとめたものがあれば事務局から出していただいてこの場で議論していきます。

#### ○平成29年度 事業報告

議長：なぜ29年度はこれほど落ち込んだのか。不思議に思っている方もおられると思います。原因ははっきりわかりませんが、そのへんをどのようにとらえて、どう分析して30年度に生かしていくかということが一番大切なことだと思います。29年度はおそらくこういうことが要因だったのだろうということはある程度、分析されているなら報告してください。

事務局：平成29年度につきましては、ルート、ダイヤ改正を行いまして、特にゆめさとこども園の直行、直帰の便とかんぽの宿大和平群の便を創設した年でございました。そのかわり、従来からありました公共施設利用の朝の9時から9時半に着く便が多少、乱れたということがございました。

昨年秋に実施しました、かしのき荘でのアンケート、各コミュニティバス車内でのアンケート結果、「非常に乗りにくい」という回答が多くございました。特に南地区から通常利用していた便が、ゆめさとこども園の直行、直帰便を手当したので、大変乗りにくく、乗らな

かったということがアンケートの結果から読みとれます。

今回のダイヤ改正は一番多く乗っていた便、アンケートの調査結果からも、「この時間にどこに行きたい」ということを吸い上げて、ていねいに進めてまいりました。その結果、ゆめさとこども園の停留所とかんぼの宿の停留所を廃止し、3ルートから2ルートになり便数も減ったのですが、いまのところ予想を上回る乗車がございました。住民の意見を重視してダイヤを手当てしたというのが30年度の特徴ですが、いまのところは予測以上の利用があります。南部ルートは15便から7便に減ったのですが、できるだけ利用しやすいダイヤに改編したということで、現在は利用が伸びてきています。

議 長 : 30年度はこういう状況であるという報告をいただきました。そういうことも十分踏まえて頑張っていたきたいです。

全体は減りましたが、公民館などの乗降者数ベスト3に対する影響は全くなく、減っていないのですから、何かがあるわけです。そのへんをどう分析していくかは難しいです。

導入当初はたくさんのお客様に乗っていただいていたものの、だんだん社会参加がしにくくなった、初めに乗っていた方はずっと歩いているとか、車に乗れないという人が多かったのですが、次に続く世代の方は車社会で大きくなってきていますので、ずっと車に乗られる。

そんな中で利用をふやしていくのは難しいところです。人口自体がだんだん減っていく、子供も減っていく、利用される方が減っていくのは間違いないところです。できるだけ多くの年代の方に乗っていただくということだと思います。

無料乗車日ではないが、毎月、バスの日を決めて、「8日はバスの日です。皆さん、バスに乗りましょう!」とか、そういうキャンペーンをして、少しでも刺激を与えてバスに目を向けてもらうということも一つの方法ではないのか、そのあたりも検討していただきたいです。

## ○議事

議案第1号 平成29年度 平群町地域公共交通会議 収支決算報告・監査報告

議 長 : 承認いただける方は拍手をお願いしたい。

(拍手多数:承認)

議 長 : 拍手多数でありますので、議案第1号、平成29年度 平群町地域公共交通会議 収支決算についてはご承認をいただきました。

## ○その他

・コミュニティバス運行評価基準について

議 長 : こういう基準についてどう思われているのか、参考までにお聞かせ願えたらと思います。

近 鉄 : この2万2,000人とか1万7,500人という数字が出るのは、今年度が終わってからだと思いますが、去年、同じようなことをやられて、どのぐらいだったという結果が出ているのでしょうか。

事務局 : 35ページの上の表で「最低基準」が1万人と1万8,200人となっていて、それが29年度までの最低需要基準でした。

近 鉄 : 民間企業ですので、どうしてもお金の問題を先に考えて、人数というよりは、赤字になったらどうするかという判断の仕方ではないかと思っています。

議長：町政の場合は儲かるから始める、儲からないからやめるというわけではなくて、そのあたりは会社と自治体は考え方が違うところがあると思います。

自治会：目標基準を算出するのに、3ルートから2ルートになったので3分の2で算出するということがよかったですか。こういう目標の設定をすると、目標よりも結果が随分高く出てしまうのではないかと感じるのですが、その点はいかがでしょう。

事務局：これは目標ということで、いままで最高に乗ってもらった数字は西山間ルートが1万4,760人、中央循環ルートが1万8,240人です。あくまでもこれは目標ということで基準にしたい。これ以上乗っていただければいいのですが、我々としてもこれを目標にしたいということで設定させていただいているところです。

NCバス：鉄道と一緒に、どちらかという収入ベースで持っています。年間幾らという平均的な減少率で収入を確定しまして、もちろん下がるだけではだめですので、例えば臨時便とか、そこに会社としてどういう施策を打っていくかということがあります。

参考になるかどうかわかりませんが、平群の道の駅のいちごパフェがすごく人気で、売り切れも非常に多い、そういう観光資源があるのであれば、コミュニティバスに乗ってそこへ行っていただくような施策ですとか、町外からのお客様を取り込まないといけないと思います。町内の方にも、イベントをしていることを広報誌とか、無料で掲載されるようなコミュニティ誌とかに宣伝されて、「ここに行くには、この時間の、このコミュニティバスで、幾らです」と。そういう施策でお客様をいかに取り込むかも非常に大切になってくるのではないのでしょうか。

議長：目標基準を決めていくときには、いろいろな減少率等も考慮してのことですけれども、プラスに転じる方策も肝心だと思います。

#### ○事務局より「資料-10」の説明

事務局：今回、この「コミュニティバスでゆく 平群」ということで、一部、道の駅にも立ち寄ることができるような案内をさせていただいています。いちごが有名なのですが、季節が限定され、いちごパフェも数量が限定され、来てもらった方全員に食べていただけるという状況ではないようです、ほかにもブドウなどいろいろなものがありますので、寄っていただければそういうものに会えるということでご理解を願いたいと思います。

この公共交通につきましては、議員からもご質問や提案をいただいております。どのような提案があったかということも含めまして少しご紹介をさせていただき、今後の検討課題にしていきたいと考えます。

- ・「コミバスをもう少し小型化して、1便60分以内で回れるようなルートにすればどうか」
- ・「平群駅をハブ的に、そこを起点にしていろいろなところを回っていただいたらどうか」ただし、駅から東側の踏切が狭くて、いまのバスではそこは通れないという状況もあります。
- ・「自家用有償旅客運送業でコミュニティ型の公共交通ができないか」
- ・「停留所まで行くのに時間がかかる、体のご不自由な方など、利用ができない方々についてどのような考え方を持っているのか」
- ・「乗っている方と乗っていない方の両方から聞き取り調査をすればどうか」

4月から新しく2ルートに変更させていただいたばかりですので、少なくとも2年間程度は状況を見させていただいて、その後にこの公共交通会議の中でも検討していただき、議論を深めていただいて決めていきたいと考えます。

長寿会 : デマンド交通について平群町としてはどう対応するのがいいのかということについて、そろそろまとめる時期に来ているのではないですか。

すでに導入しておられるところのお話を聞けば、サービスとしては悪くないけれども、やり方としては全然うまくいかないということがありました。サービスとしては悪くないけれども、というのであれば、やり方をいろいろ考えると、か、どうすればそれなりの効果のある形になるのかということです。

公共交通としてはなじまないものであれば、それなりの結論をそろそろ出してもらえないか。これはお願いでございます。別にすぐに出してくださいというのではないのですが。

事務局 : デマンドにつきましては議員さんのほうからもご提案をいただいております。

- ・白ナンバーのデマンドを無料でやったらどうか
- ・町で10人程度のバスなどを購入して無料でやったらどうか

昨年の公共交通会議の中でも「デマンドについても検討していかなければならない」ということもありました。

どのようなやり方がいいのかということも含めて、まだまだ検討しなければならないということで、公共交通会議の中で諮っていかねばならないと思います。

ほかにも福祉有償運送や福祉タクシーも介護タクシーもありで、体のご不自由な方についてはそちらのご利用も十分考えていかなければなりません。

ほかの交通機関のバス事業者さん、タクシー事業者さんのこともありますので、一概にすぐに導入するというにはなかなかいかないです。

それは検討課題としてあげさせていただきたいと思います。

以 上



## コミュニティバス利用状況（平成30年度実績）

## 1. 利用状況の年度推移

平成17年度から平成30年度までのコミュニティバスの利用状況の推移を以下に示す。

単位：人

利用者数(人)	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
西山間ルート	11,707	11,036	11,285	11,167	10,893	10,566	11,616	13,465	13,998	14,760	12,329	10,297	8,945	9,584
南北循環ルート	9,865	9,849	12,147	14,235	14,749	13,981	13,914	15,581	14,864	14,675	18,241	17,847	15,626	11,179
合計	21,572	20,885	23,432	25,402	25,642	24,547	25,530	29,046	28,862	29,435	30,570	28,144	24,571	20,763
西山間ルート目標値							14,300	14,600	14,900	15,200				9,840
南北循環ルート目標値							29,300	31,300	33,400	35,400				12,160



平成30年度より3ルート運行から2ルート運行に変更されることに伴い、新たに評価基準を設定した（※次ページ参照）。

## 【西山間ルート】

- ・H30年度の利用者数は9,584人となり、目標数の9,840人には達しなかったが、最低需要基準である8,060人は達成した。

## 【南北循環ルート】

- ・H30年度の利用者数は11,179人となり、目標数の12,160人には達しなかったが、最低需要基準である9,440人は達成した。

※参考資料：コミュニティバス2ルート運行における評価基準（H30年3月作成）

1. 運行評価基準

2ルート運行における運行評価基準については、本町のコミュニティバスを維持・継続することを前提に、需要予測、目標基準、最低需要基準を設定した。

1) 需要予測

需要予測は、平成29年度（4月～12月）の利用者数から検討を行った。

①計算式：年間利用者数（人）＝（4月～12月の平均日利用者数）×20日/月×12ヶ月

②西山間ルート：9,266人/年                      ③南北循環ルート：11,211人/年

④年間目標利用者数：9,266人＋11,211人＝20,477人 ⇒ 約20,000人

2) 目標基準

目標基準は、過年度実績における各ルートの最大年間利用者数を基に、3ルート運行から2ルート運行に変更した場合で算出し、目標利用者数を22,000人に設定した。

表 目標基準の算出

運行ルート	最大年間利用者数	2/3で算出	目標基準 (人/年度)
西山間ルート	14,760人 (H26年度)	14,760*2/3	9,840
南北循環ルート	18,240人 (H27年度)	18,240*2/3	12,160
合計	33,000人		22,000

3) 最低需要基準

最低需要基準は、平成29年度の各運行ルートの年間利用者数の、最低基準に対する比率を、3ルート運行から2ルート運行に変更した場合の需要予測に掛けて算出し、最低需要基準を約17,500人に設定した。

表 最低需要基準の算出

運行ルート	①年間利用者数 (人/H29年度)	②最低基準 (人/H23年度)	過年度減少率 (%) ①÷②＝(A)	2ルート運行 需要予測 (人/年度) (B)	最低需要基準 (人/年度) (A)×(B)
西山間ルート	8,945	10,000	89.5%	9,000	8,055
南北循環ルート	15,626	18,200	85.8%	11,000	9,438
合計	24,571	28,200	87.1%	20,000	17,493

4) 運行ルート別の目標基準・需要予測・最低需要基準および収支率

目標基準、需要予測、最低需要基準および収支率を以下にまとめた。

収支率は、平成29年度の一人当りの運賃収入（87.4円/人）を用いて、それぞれに対して算出した。なお、評価年次は2カ年としている。

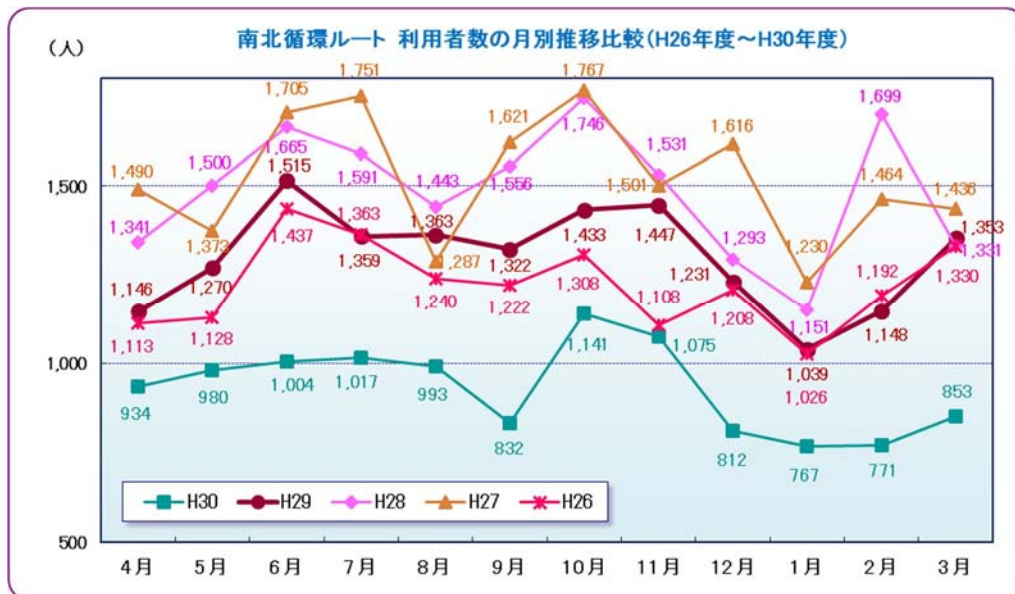
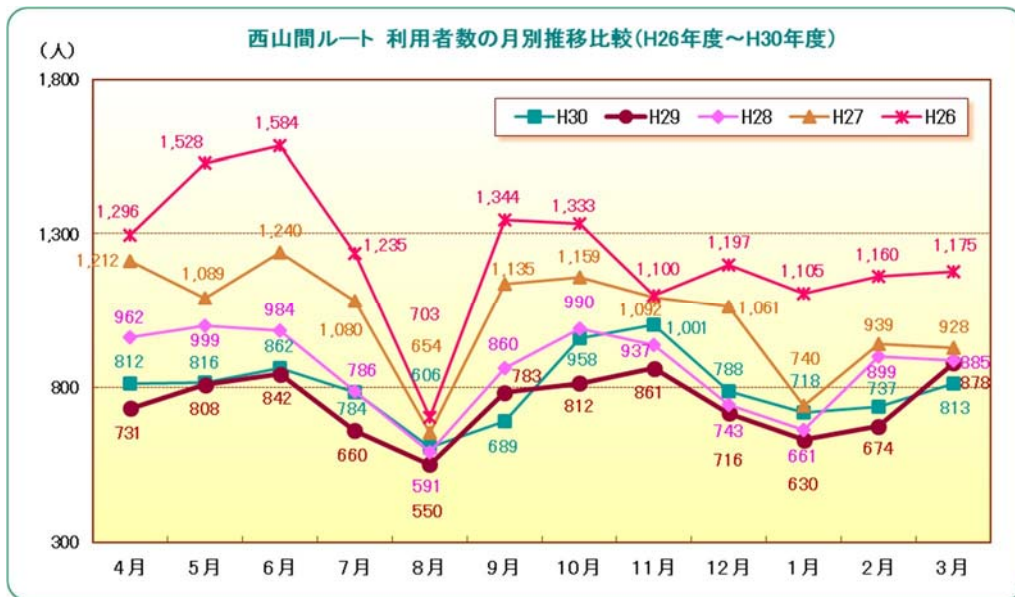
表 運行ルート別目標基準・需要予測・最低需要基準・収支率

運行ルート		平成30年度	収支率	平成31年度	収支率
西山間ルート	目標基準	9,840人	8.7%	9,840人	8.7%
	需要予測	9,000人	8.0%	9,000人	8.0%
	最低需要基準	8,060人	7.2%	8,060人	7.2%
南北循環ルート	目標基準	12,160人	8.7%	12,160人	8.7%
	需要予測	11,000人	7.9%	11,000人	7.9%
	最低需要基準	9,440人	6.8%	9,440人	6.8%

## 2. 月別利用状況の年度推移

月別利用状況について平成 26 年度～平成 30 年度の年度別の利用状況比較を以下に示す。

利用者数(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値
西山間ルート(26年度)	1,296	1,528	1,584	1,235	703	1,344	1,333	1,100	1,197	1,105	1,160	1,175	1,230
西山間ルート(27年度)	1,212	1,089	1,240	1,080	654	1,135	1,159	1,092	1,061	740	939	928	1,027
西山間ルート(28年度)	962	999	984	786	591	860	990	937	743	661	899	885	858
西山間ルート(29年度)	731	808	842	660	550	783	812	861	716	630	674	878	745
西山間ルート(30年度)	812	816	862	784	606	689	958	1,001	788	718	737	813	799
中央循環ルート(26年度)	1,113	1,128	1,437	1,363	1,240	1,222	1,308	1,108	1,208	1,026	1,192	1,330	1,223
中央循環ルート(27年度)	1,490	1,373	1,705	1,751	1,287	1,621	1,767	1,501	1,616	1,230	1,464	1,436	1,520
中央循環ルート(28年度)	1,341	1,500	1,665	1,591	1,443	1,556	1,746	1,531	1,293	1,151	1,699	1,331	1,487
中央循環ルート(29年度)	1,146	1,270	1,515	1,359	1,363	1,322	1,433	1,447	1,231	1,039	1,148	1,353	1,302
南北循環ルート(30年度)	934	980	1,004	1,017	993	832	1,141	1,075	812	767	771	853	932



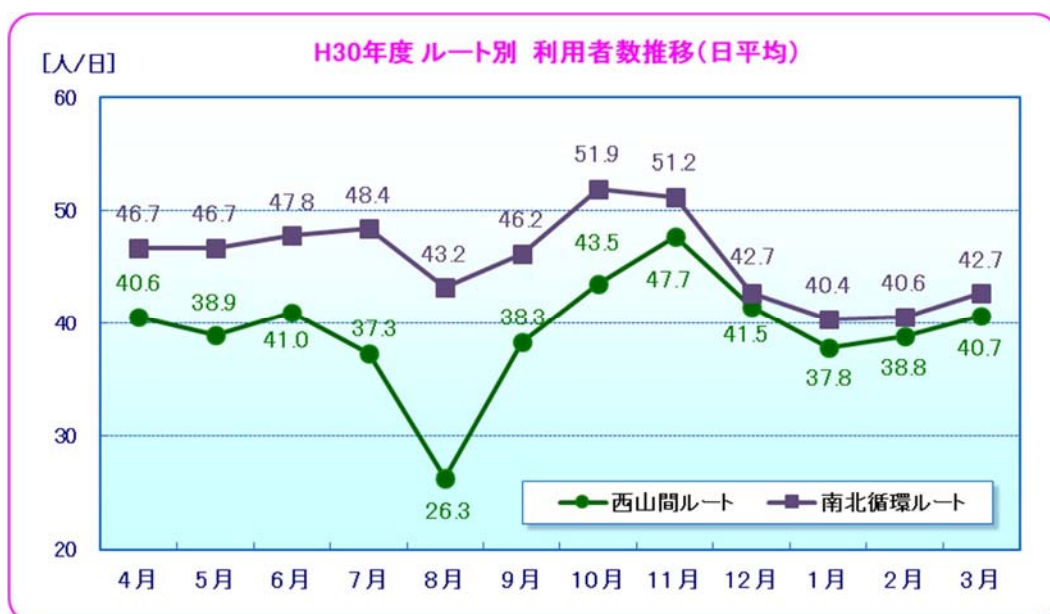
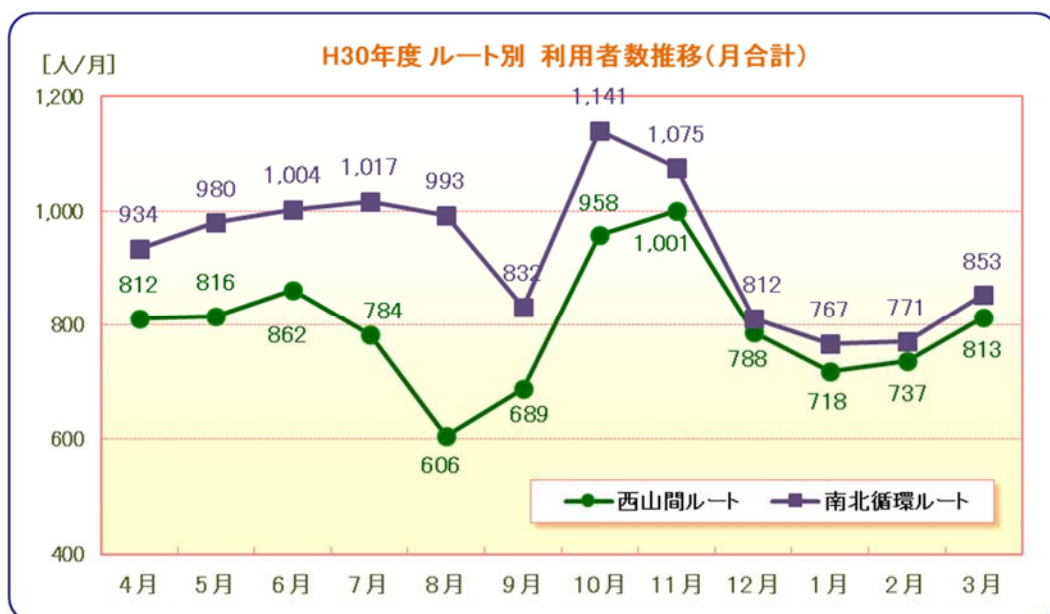
- 【西山間ルート】 ・ 夏期、冬期に減少する傾向が続いている。
- 【南北循環ルート】 ・ 平成 26 年度～平成 29 年度の傾向はだいたい変わらない。
- ・ 平成 30 年度については、6、7月の利用者数が減少している。

### 3. 平成 30 年度の利用者数の推移

平成 30 年度の月別利用者数の推移を以下に示す。

#### ■ 月別利用者数の推移

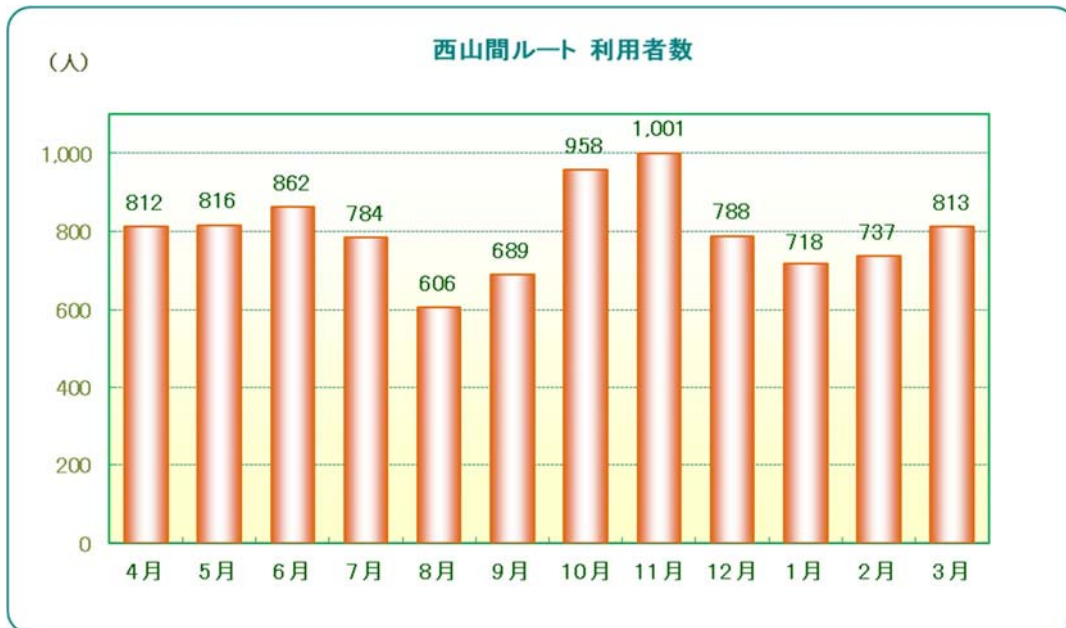
利用者数(人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均 (H30.4- H31.3)
運行日数(平日)		20	21	21	21	23	18	22	21	19	19	19	20	
月計	西山間ルート	812	816	862	784	606	689	958	1,001	788	718	737	813	799
	南北循環ルート	934	980	1,004	1,017	993	832	1,141	1,075	812	767	771	853	932
	合計	1,746	1,796	1,866	1,801	1,599	1,521	2,099	2,076	1,600	1,485	1,508	1,666	1,730
日平均	西山間ルート	40.6	38.9	41.0	37.3	26.3	38.3	43.5	47.7	41.5	37.8	38.8	40.7	39.4
	南北循環ルート	46.7	46.7	47.8	48.4	43.2	46.2	51.9	51.2	42.7	40.4	40.6	42.7	45.7



#### 4. 平成 30 年度の西山間ルートの利用状況

##### 4. 1 月別の利用者数の推移

平成 30 年度の西山間ルートの日別利用者数を以下に示す。



##### 4. 2 1日／1便あたりの利用者数の推移

平成 30 年度の 1 日当たり及び 1 便当たりの利用者数を以下に示す。

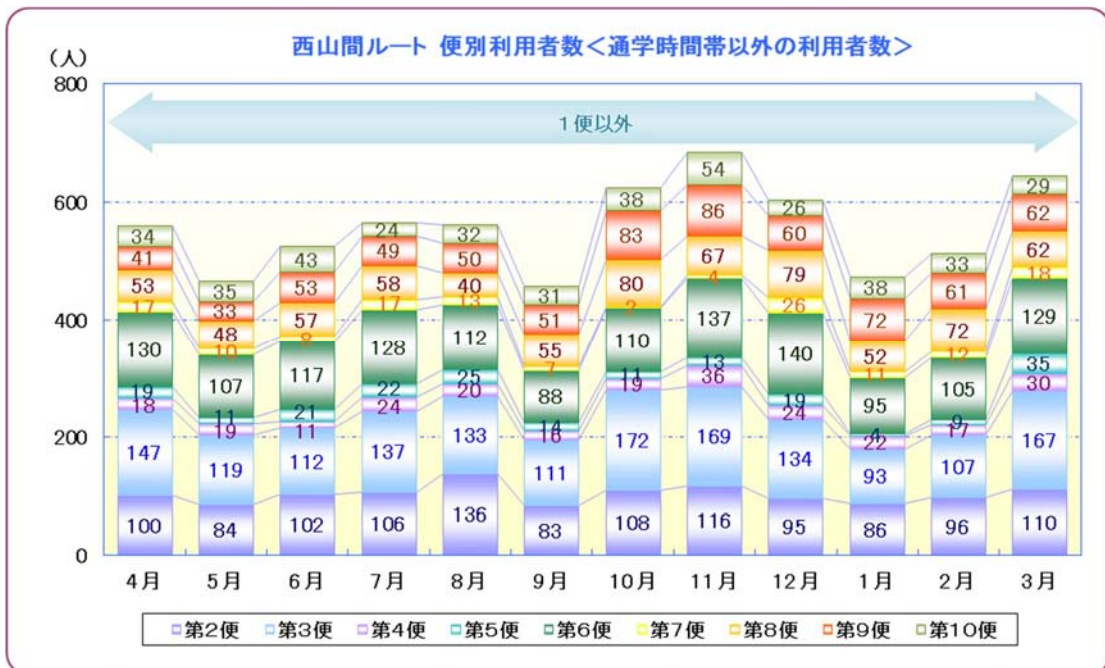
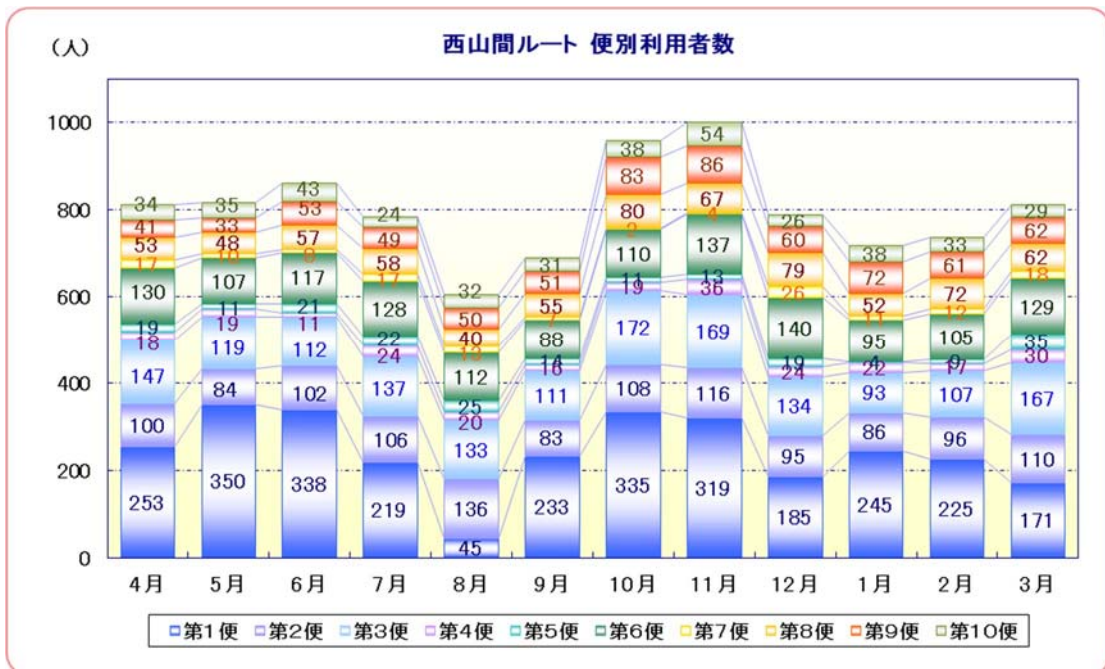


・月平均、日、便当たり、ともに前年比7%程度増加。

- 月間平均利用者数 : 799 人／月 (前年度より 7.2%増)
- 1日当たり平均利用者数 : 39.4 人／日 (前年度より 6.5%増)
- 1便当たり平均利用者数 : 3.9 人／便 (前年度より 7.0%増)

### 4. 3 便別の利用状況

平成 30 年度の便別の利用者数を以下に示す。



**【全体】**

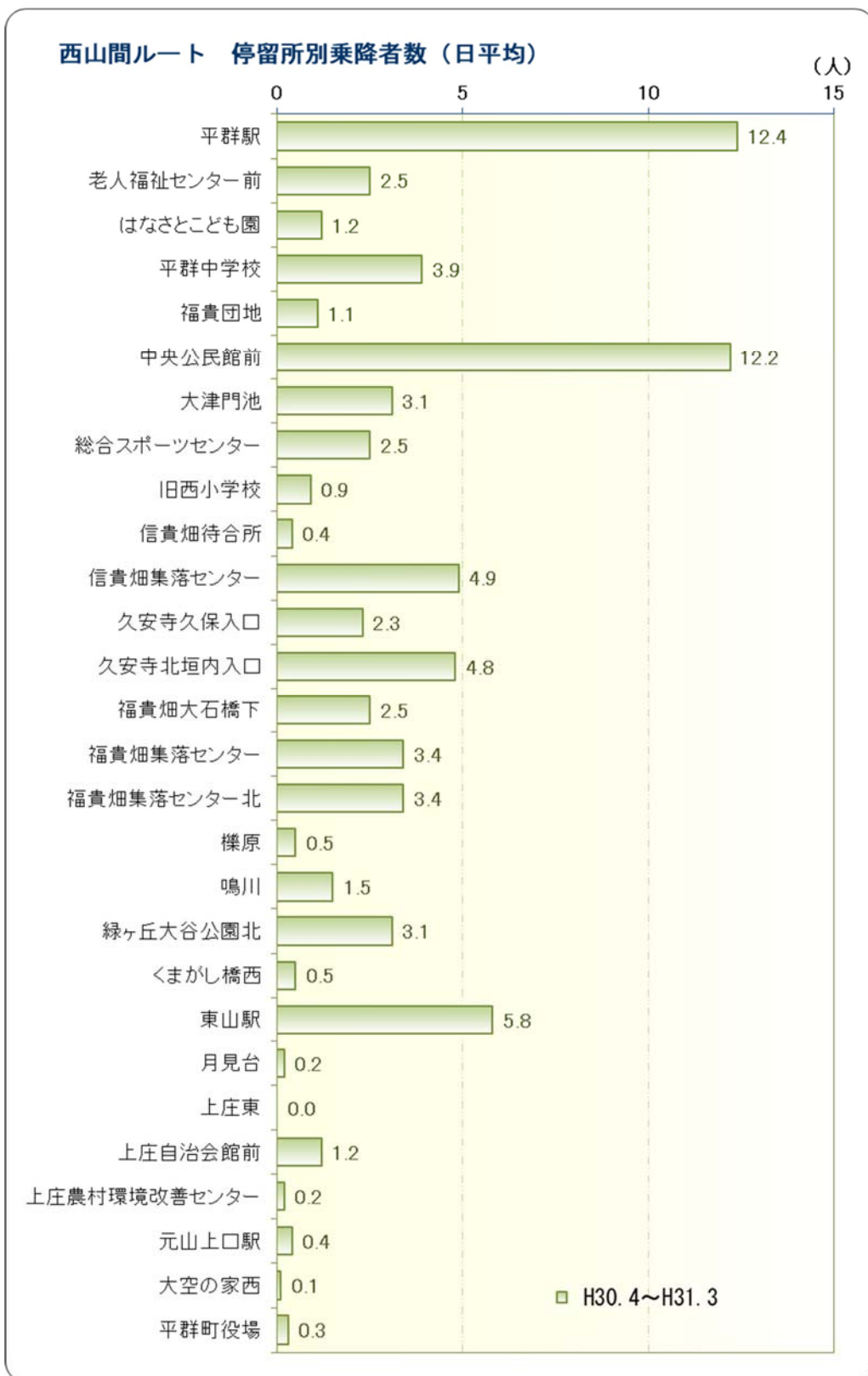
- ・月平均の利用者数は第1便(243人)が最も多く、次いで第3便(133人)、第6便(117人)の順であり、最も少ないのは第5便(17人)となっている。

**【通学時間帯以外】**

- ・月平均の利用者数は第3便(133人)、第6便(117人)、第2便(102人)の順であり、最も少ないのは第5便(17人)となっている。

#### 4. 4 停留所別の利用状況

平成 30 年度の 1 日当たりの停留所別利用者数を以下に示す。

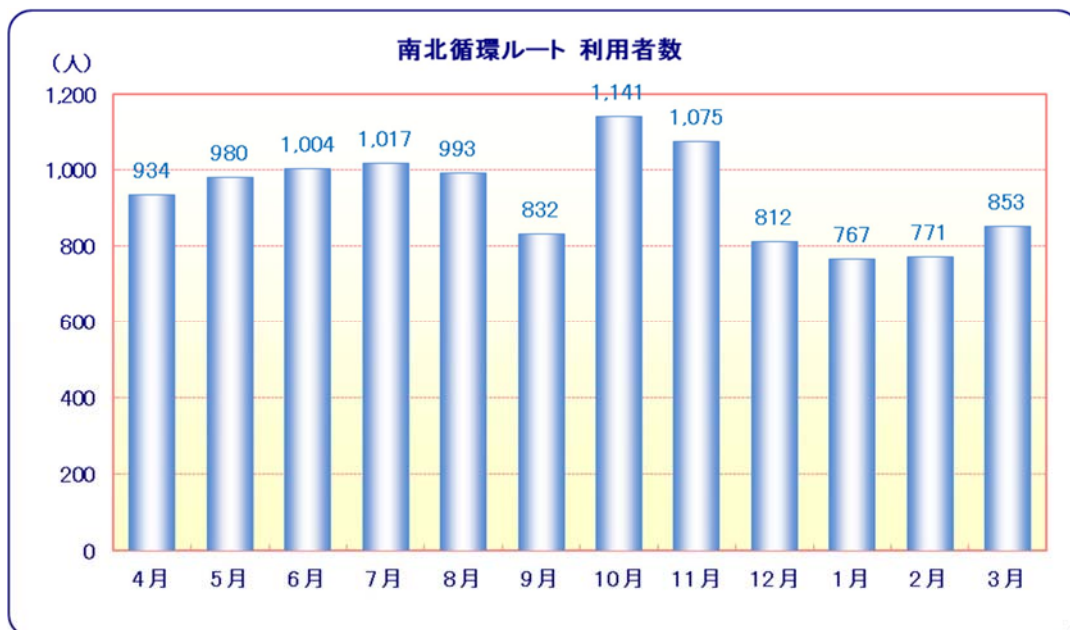


- ・西山間地域からの目的地としては、「平群駅」（12.4 人）が最も多く、次いで「中央公民館前」（12.2 人）、「東山駅」（5.8 人）の順である。
- ・西山間地域では「信貴畑集落センター」（4.9 人）が最も多く、次いで「久安寺北垣内入口」（4.8 人）、「福貴畑集落センター」「福貴畑集落センター北」（3.4 人）の順となっている。

## 5. 平成 30 年度の南北循環ルートの利用状況

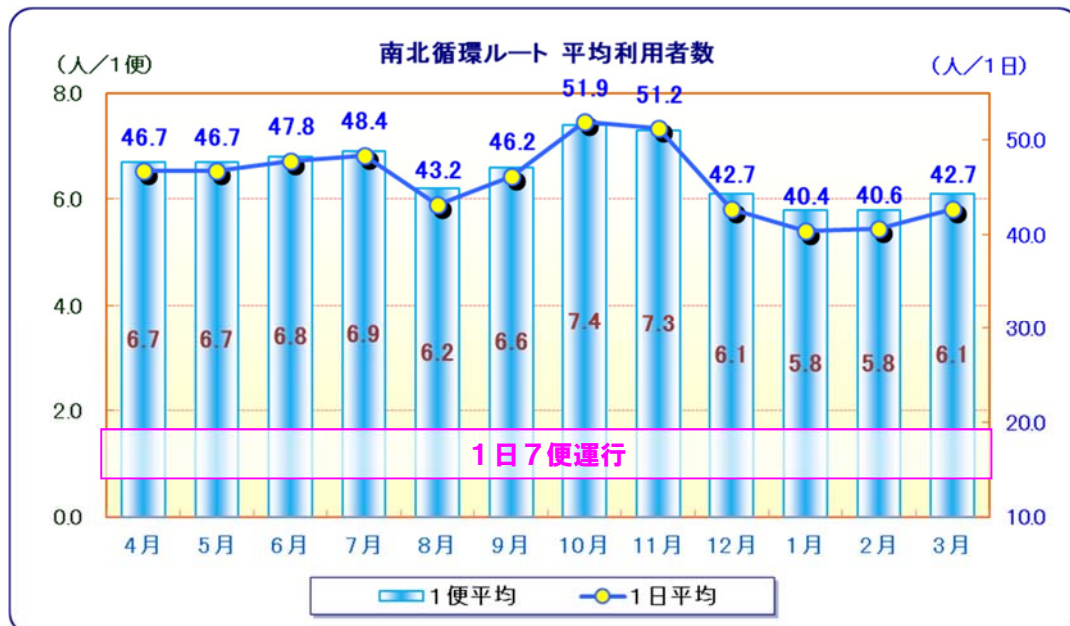
### 5. 1 月別の利用者数の推移

平成 30 年度の南北循環ルートの日別利用者数を以下に示す。



### 5. 2 1日／1便あたりの利用者数の推移

平成 30 年度の南北循環ルートの日当たり及び1便当たりの利用者数を以下に示す。



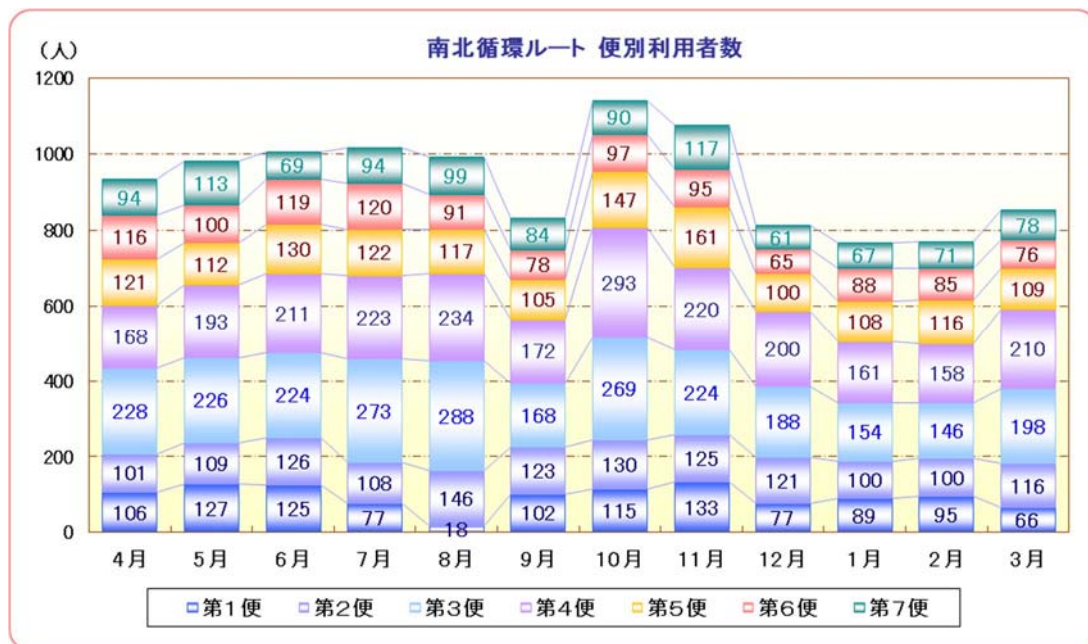
・月、日の平均利用者数は前年比約 30%減少、便あたりは約 50%増加。

- 月間平均利用者数 : 932 人／月 (前年度より 28.4%減)
- 1日当たり平均利用者数 : 45.7 人／日 (前年度より 28.6%減)
- 1便当たり平均利用者数 : 6.5 人／便 (前年度より 51.9%増)



### 5.3 便別の利用状況

平成30年度の便別の利用者数を以下に示す。

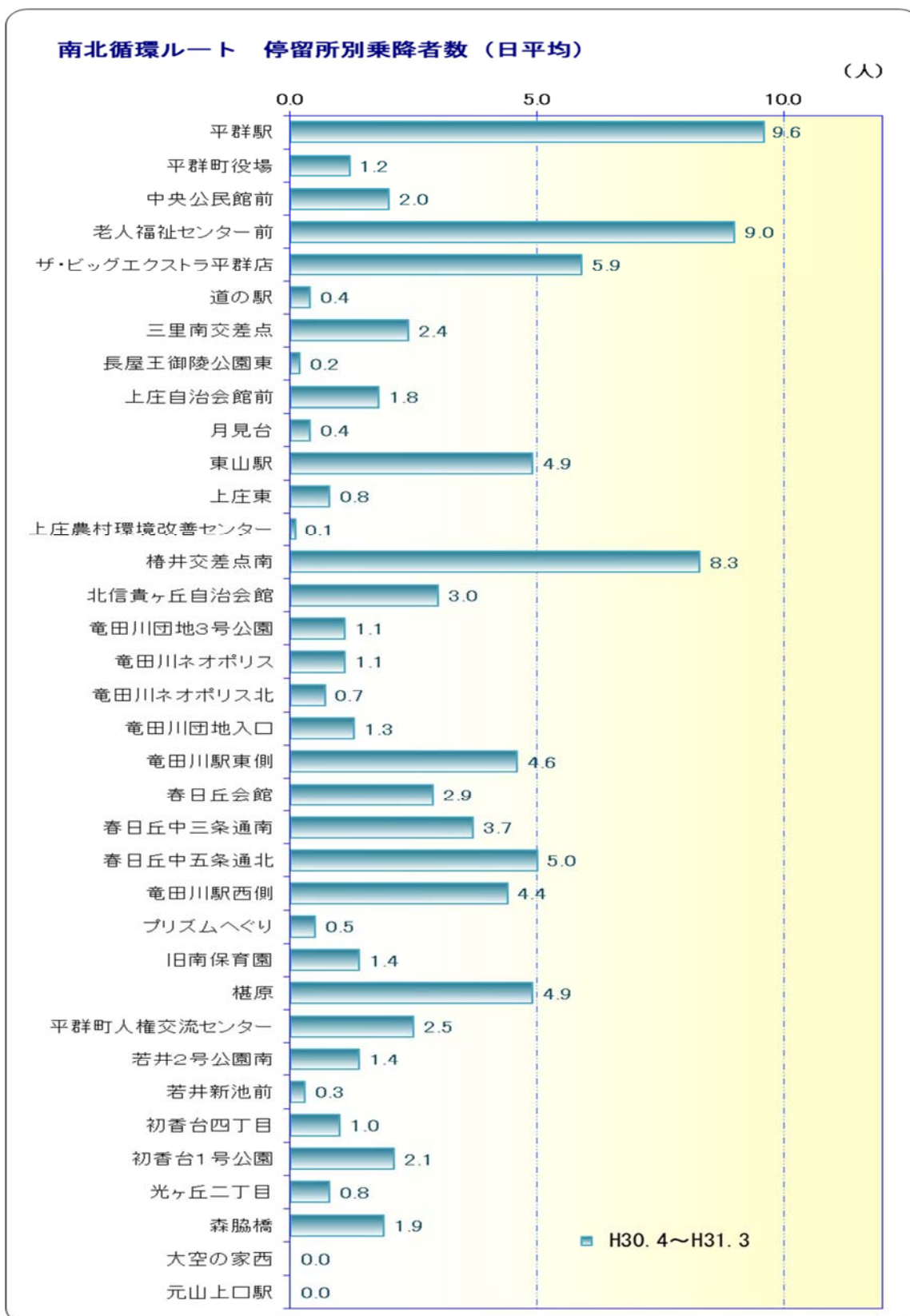


#### 【南北循環ルート】

- ・月平均利用者は第3便（216人）が最も多く、次いで第4便（204人）、第5便（120人）第2便（117人）の順となっている。最も少ないのは、第7便（86人）となっている。

## 5. 4 停留所別の利用状況

平成30年度の1日当たりの停留所別利用者数を以下に示す。

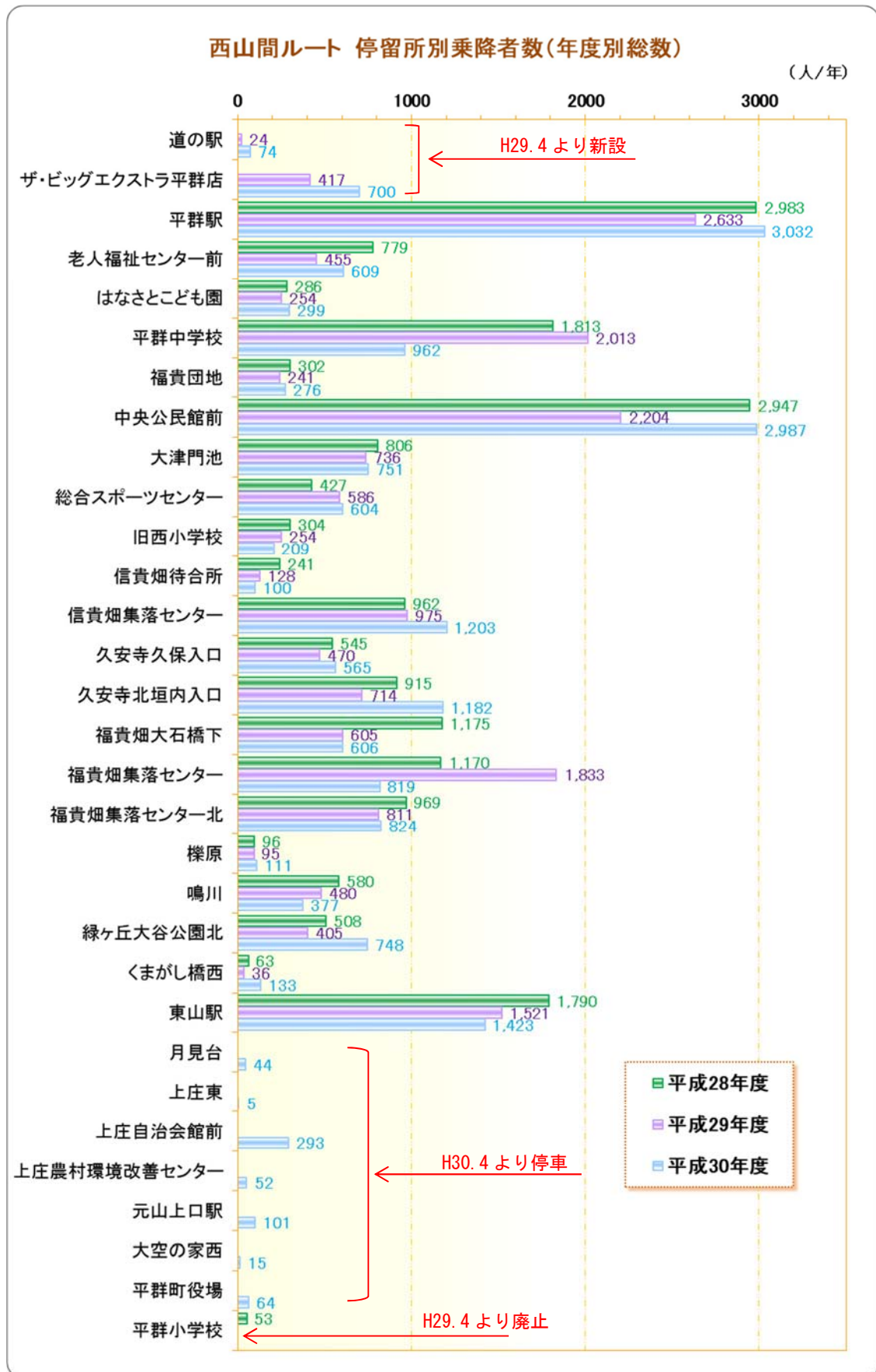


- ・中央循環地域からの目的地としては、「平群駅」（9.0人）が最も多く、次いで「老人福祉センター前」（9.0人）、「ザ・ビッグエクストラ平群店」（5.9人）の順となっている。
- ・中央循環地域では、「椿井交差点南」（8.3人）、「春日丘中五条通北」（5.0人）の順となっている。また、「椹原」（4.9人）となっている。

## 6. 停留所別 年度別の利用比較

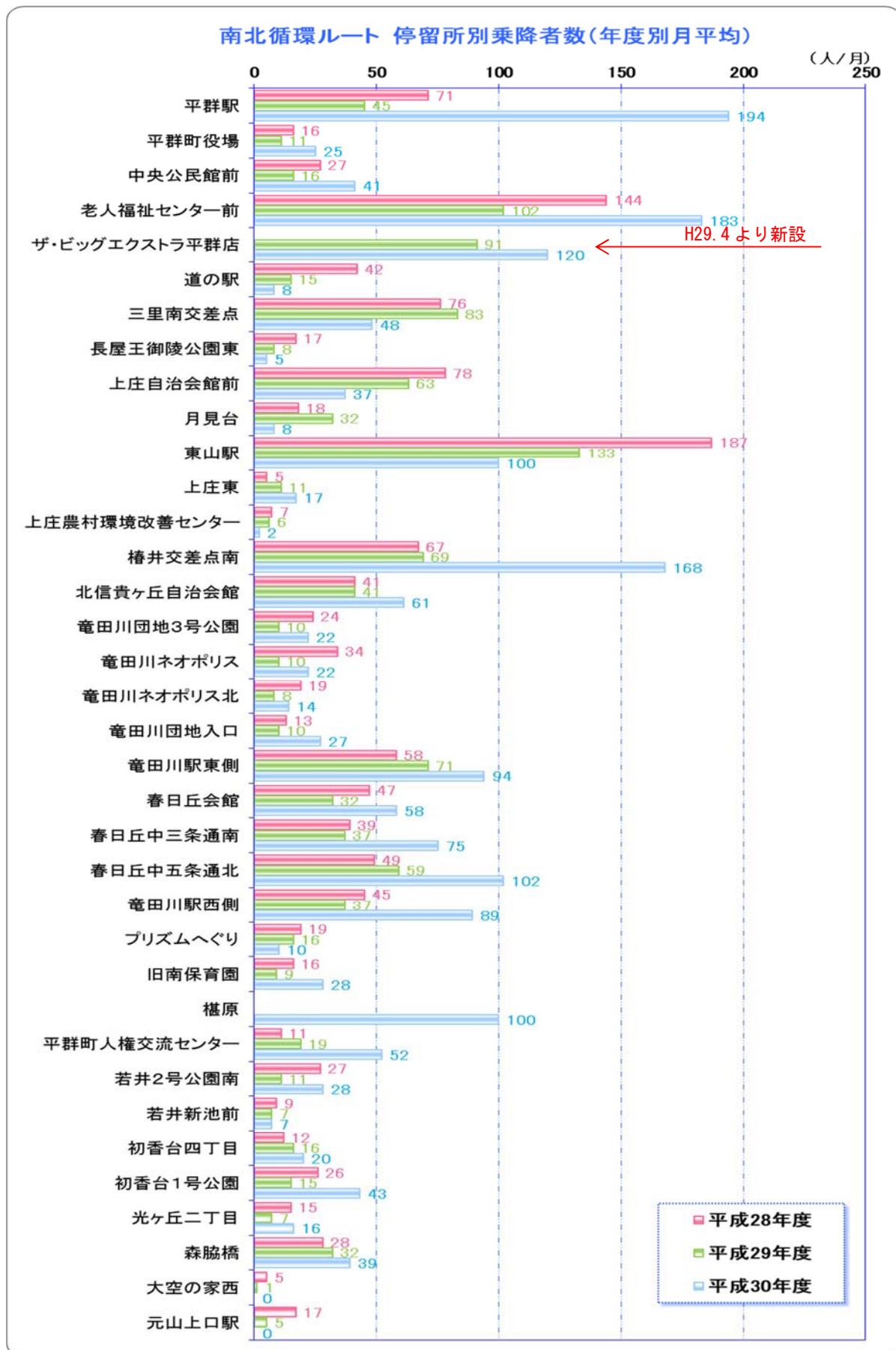
### 6.1 西山間ルート

平成28年度～平成30年度の各停留所の年度別の利用状況を以下に示す。



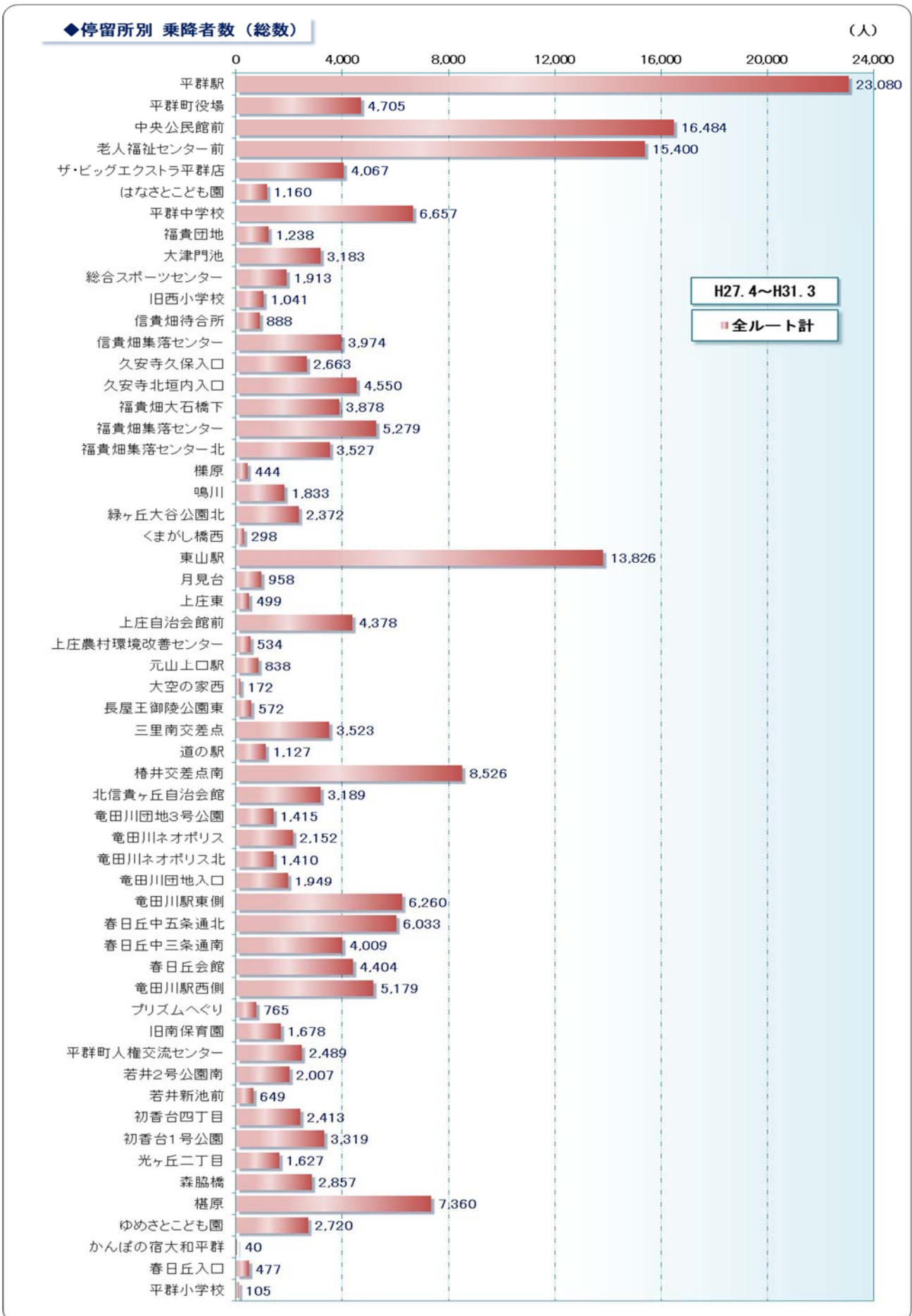
## 6. 2 南北循環ルート

平成 28 年度～平成 30 年度の各停留所の年度別の利用状況を以下に示す。



## 7. 停留所別の利用比較

平成 27 年 4 月～平成 31 年 3 月までの各停留所別の全ルート合計の利用状況を以下に示す。



## 公共交通イベント実施報告

公共交通イベントとして、「無料乗車」を実施した。

### 1. 実施日

・平成30年11月12日（月）～平成30年11月16日（金） 5日間

### 2. 効果検証

無料乗車日以外と比較して、西山間ルート143人増、南北循環ルート123人増、計266人増となっている。

表 無料乗車期間利用者数（単位：人）

		月	火	水	木	金	合計
西山間 ルート	通常期間※	39	42	41	43	36	201
	無料期間	59	60	70	56	99	344
	無料乗車日との比較	20	18	29	13	63	143
南北循環 ルート	通常期間※	44	54	39	39	54	230
	無料期間	67	69	60	78	79	353
	無料乗車日との比較	23	15	21	39	25	123
合 計	通常期間※	83	96	80	82	90	431
	無料期間	126	129	130	134	178	697
	無料乗車日との比較	43	33	50	52	88	266

※通常期間の利用者数は11月の各曜日の平均値

### 3. 前年度の無料乗車との比較

前年度の無料乗車と比較すると、西山間ルート85人増、南北循環ルート94人減、全体9人減となっている。

表 前年度との比較（単位：人）

	H30.11 無料乗車	H29.11 無料乗車	①-②
	①	②	
西山間ルート	344	259	85
南北循環ルート	353	447	-94
合 計	697	706	-9

# 利用者ヒアリング調査実施報告

## 1. ヒアリング調査概要

### (1) 実施目的

平群町コミュニティバスの無料乗車期間中にヒアリング調査を行い、日頃、コミュニティバスを利用しない人の理由を調査するとともに、日頃利用している人に対しては、改正された運行ルート、ダイヤに対する意見等を聞き取ることを目的とした。

### (2) 実施概要

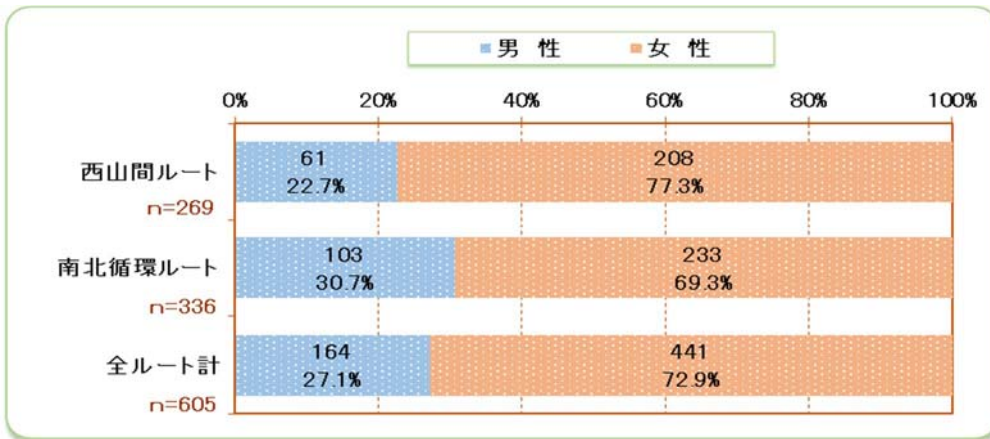
- 調査対象者 : 無料乗車期間中の平群町コミュニティバス利用者
- 調査日 : 平成30年11月12日(月)～11月16日(金) 全5日間
- 回答者数 : 605名(西山間ルート: 269名、南北循環ルート: 336名)  
うち、重複回答数は316名(西山間ルート: 111名、南北循環ルート: 205名)

## 2. ヒアリング調査結果

### (1) 回答者の属性

#### ◇性別

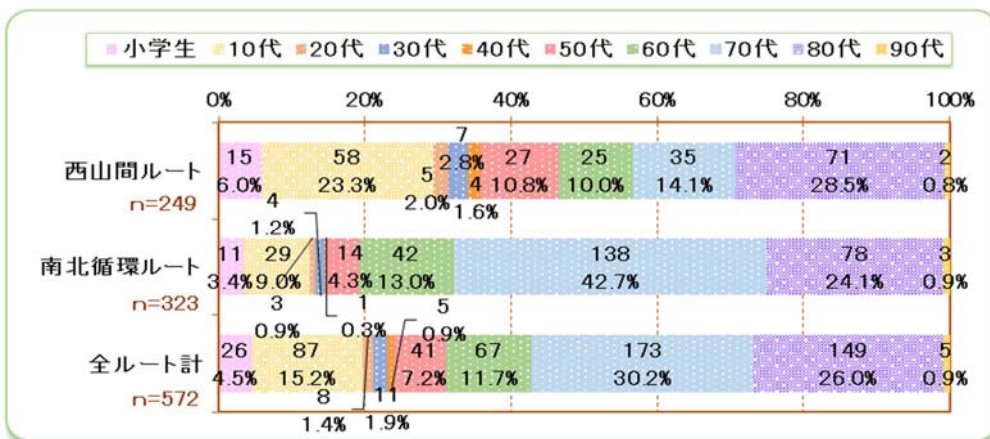
・回答者の性別は全体では、「女性」72.9%(441)、「男性」27.1%(164)であった。



#### ◇年齢

・回答者の年齢層は全体では、「60代」11.7%(67)、「70代」30.2%(173)、「80代以上」26.9%(154)で、「50歳以下」が31.1%(178)であった。

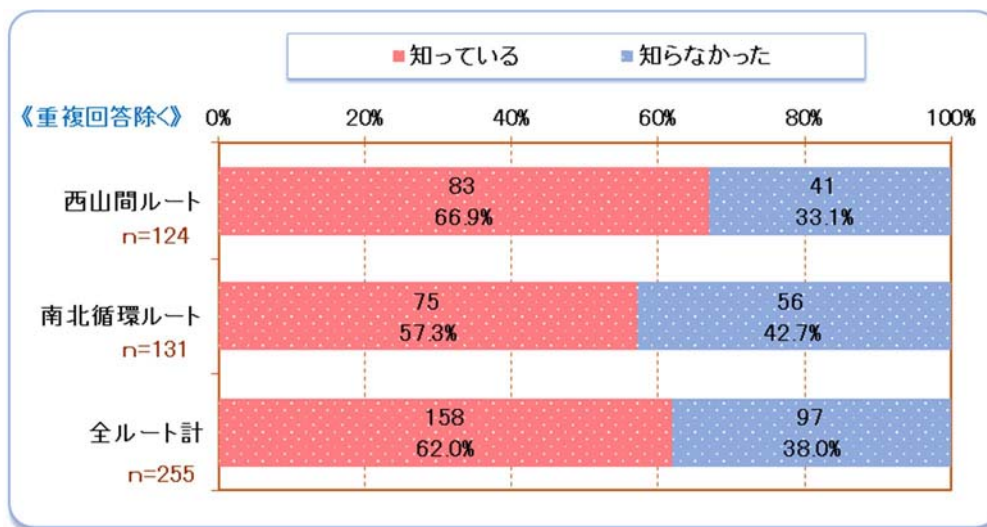
・西山間ルートは小学生と10代が合わせて29.3%(73)であった。



(2) 調査結果

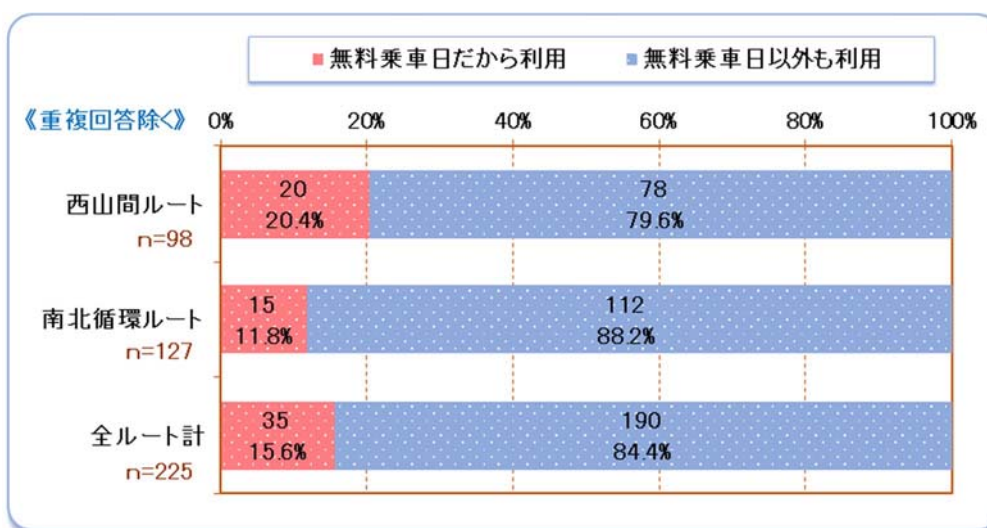
(1) 本日は平群町コミュニティバスの無料乗車日ですが、ご存知でしたか。

・全体で、「知っている」は 62.0%(158)、「知らなかった」は 38.0%(97)であった。



(2) 平群町コミュニティバスの無料乗車日だから利用しましたか。

・全体で、「無料乗車日だから利用」は 15.6%(35)、「無料乗車日以外も利用」は 84.4%(190)であった。



次項以降、(3)～(5)および(8)(9)については、「全体」「無料乗車日だから利用」のそれぞれの集計結果を示す。



(3) どちらの停留所まで行かれますか？ [全体]

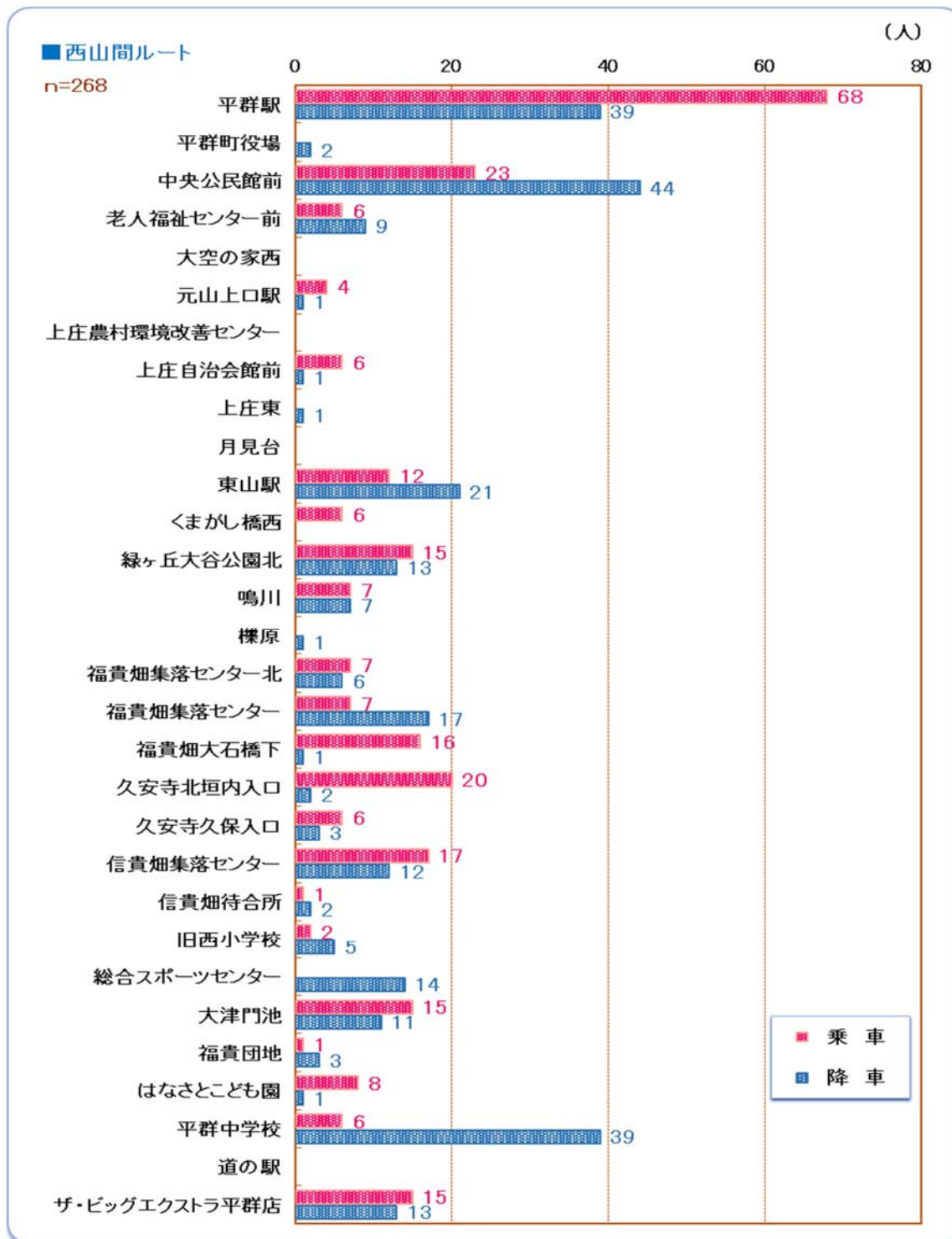
【西山間ルート】

(乗車)

・乗車の多い停留所は、平群駅(68人)、中央公民館前(23人)、久安寺北垣内入口(20人)の順となっている。

(降車)

・降車の多い停留所は、中央公民館前(44人)、平群駅・平群中学校(各39人)、東山駅(21人)の順となっている。



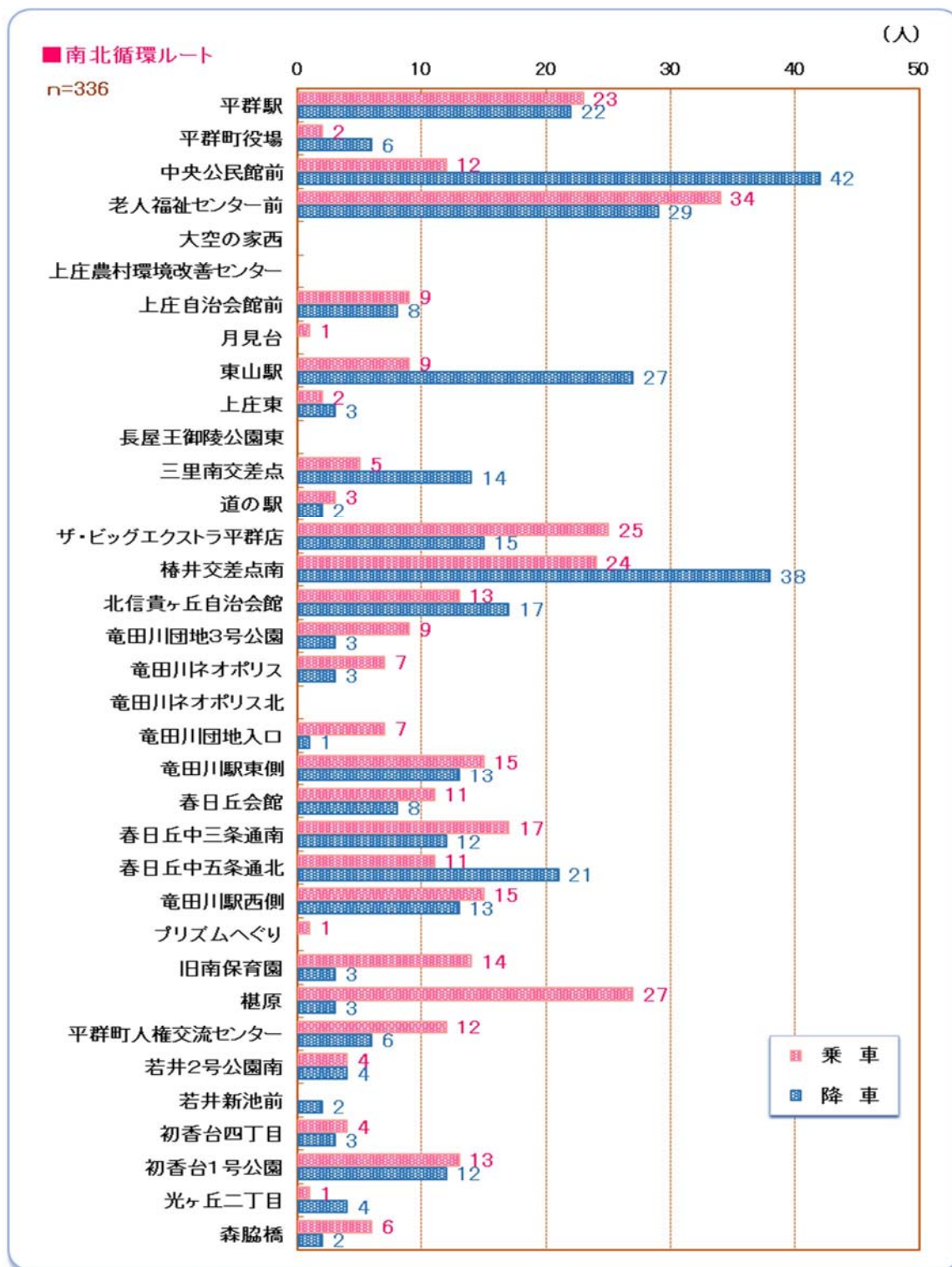
【南北循環ルート】

(乗車)

・乗車の多い停留所は、老人福祉センター前(34人)、榎原(27人)、ザ・ビッグエクストラ平群店(25人)、樺井交差点南(24人)の順となっている。

(降車)

・降車の多い停留所は、中央公民館前(42人)、樺井交差点南(38人)、老人福祉センター前(29人)、東山駅(27人)の順となっている。

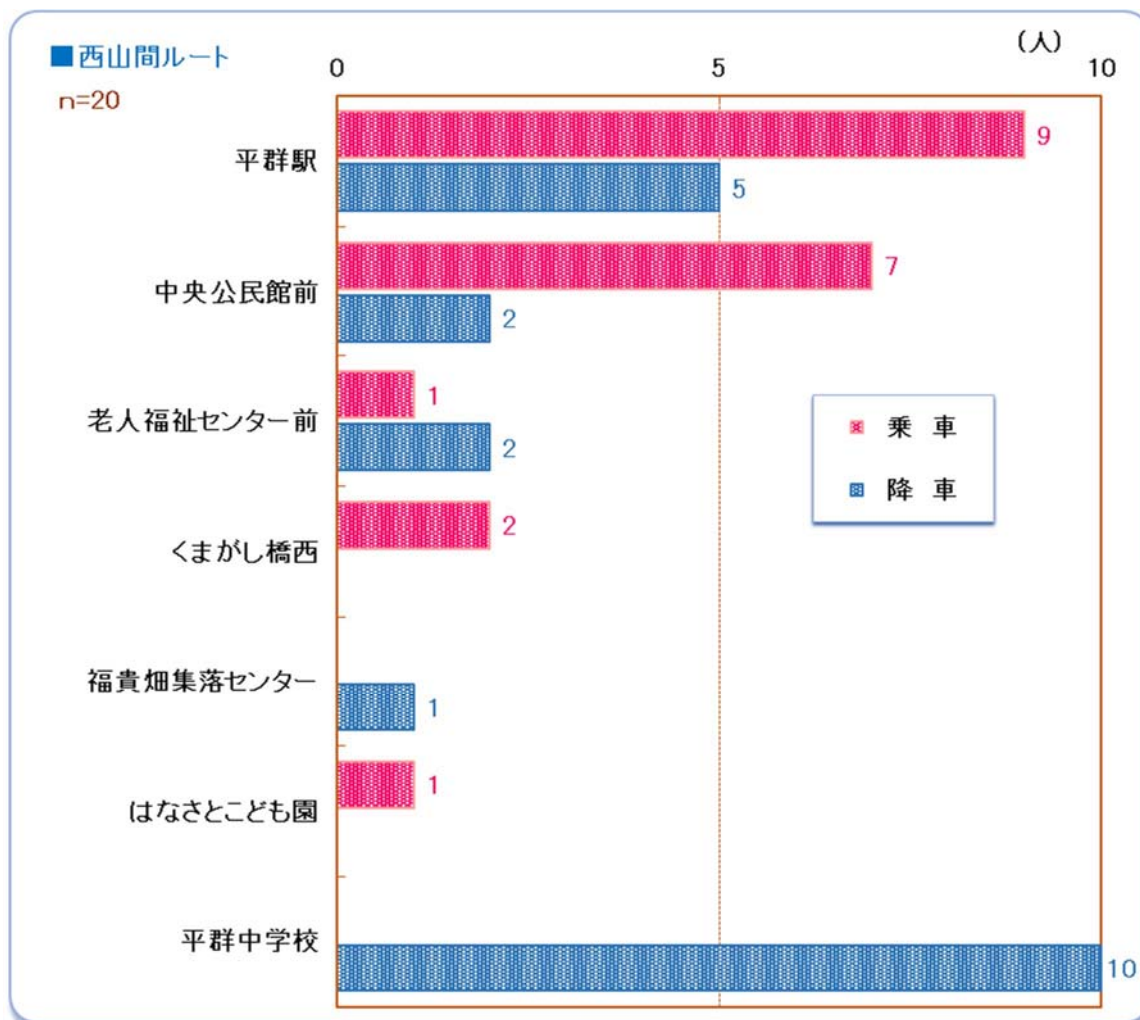


(3) どちらの停留所まで行かれますか？【無料乗車日だから利用】

【西山間ルート】

(乗車) 平群駅(9人)、中央公民館前(7人)、くまがし橋西(2人)、はなさとこども園(1人)

(降車) 平群中学校(10人)、平群駅(5人)、中央公民館前(2人)、老人福祉センター前(各2人)、福貴畑集落センター(1人)



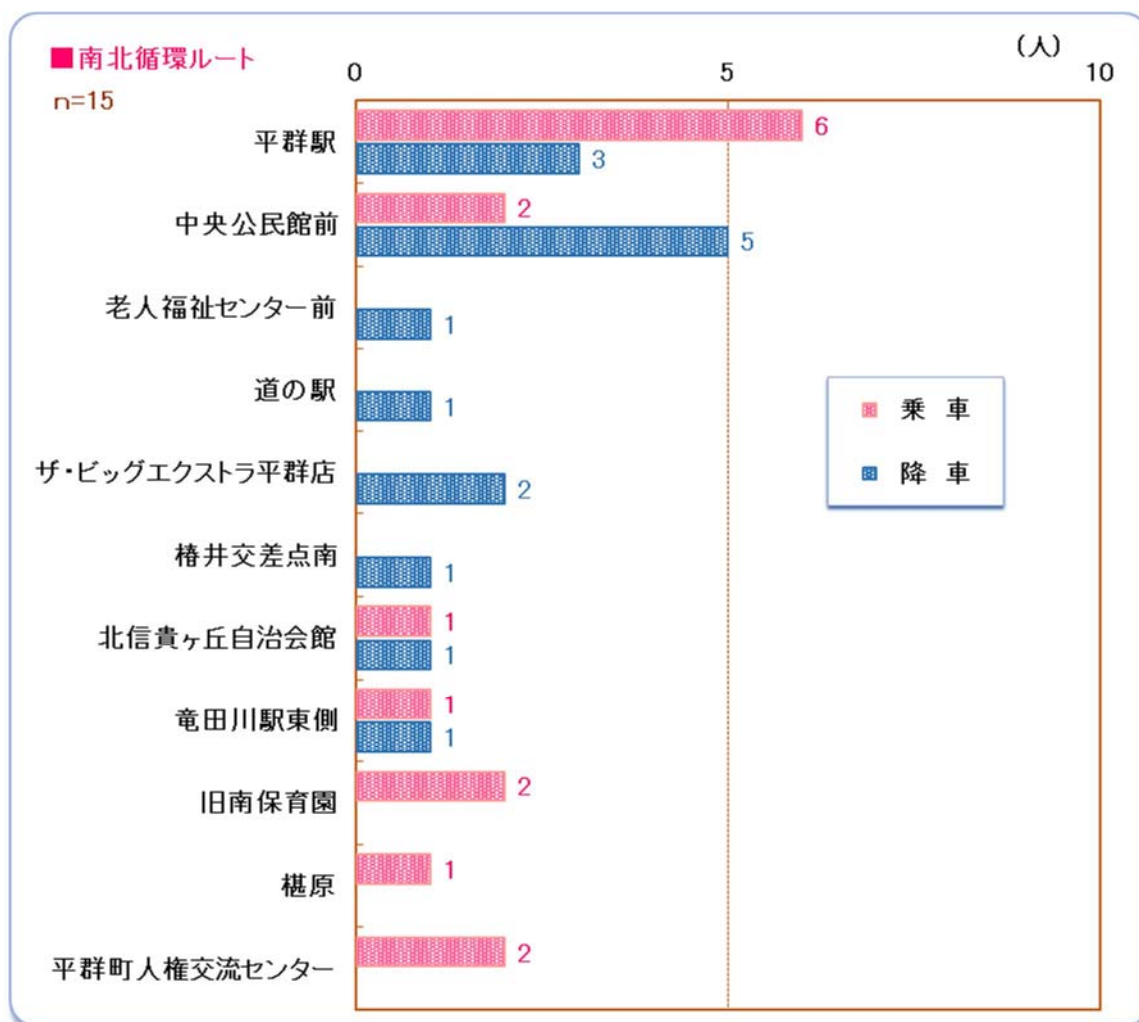
■「無料乗車日だから利用」の方が、日頃利用しない理由

西山間ルート利用者	
居住地	駅の近くに住んでいるので縁がない為
	駅の近くに住みバイクを利用している
	近いから必要なし
バス路線	家の近くに通ってない(2回答)
バスダイヤ	不便、帰りがない
	不便
バス料金	お金がかかるから

【南北循環ルート】

(乗車)平群駅(6人)、中央公民館前、旧南保育園、平群町人権交流センター(各2人)、北信貴ヶ丘自治会館、竜田川駅東側、椹原(各1人)

(降車)中央公民館前(5人)、平群駅(3人)、ザ・ビッグエクストラ平群店(2人)、老人福祉センター前、道の駅、椿井交差点南、竜田川駅東側(各1人)

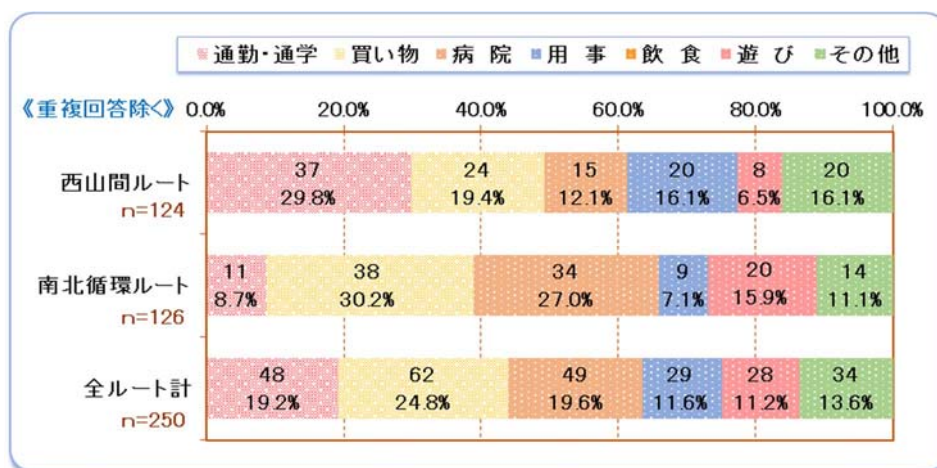


■「無料乗車日だから利用」の方が、日頃利用しない理由

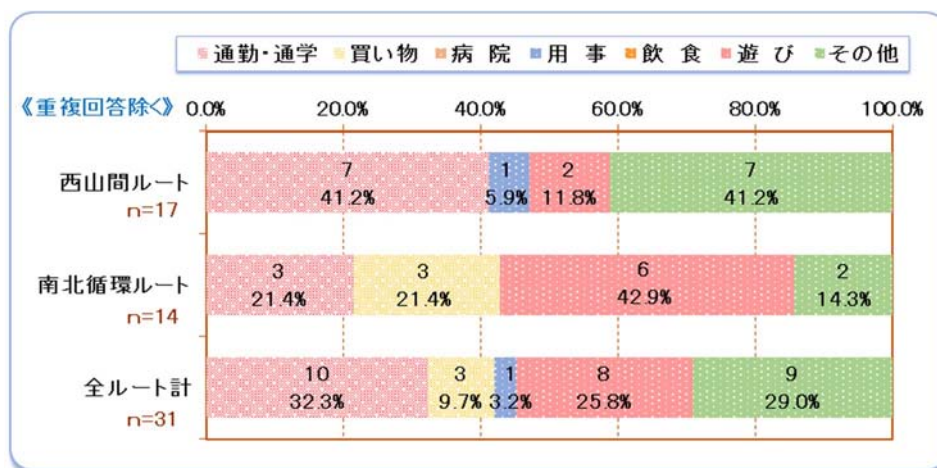
南北循環ルート利用者	
交通手段	バイクで移動しているため
	いつも車だから
バス路線	自宅付近にバスが通ってないため (2回答)
	バス路線がない(2回答)

(4)コミュニティバスの利用目的を教えてください。(複数回答)

【全体】



【無料乗車日だから利用】



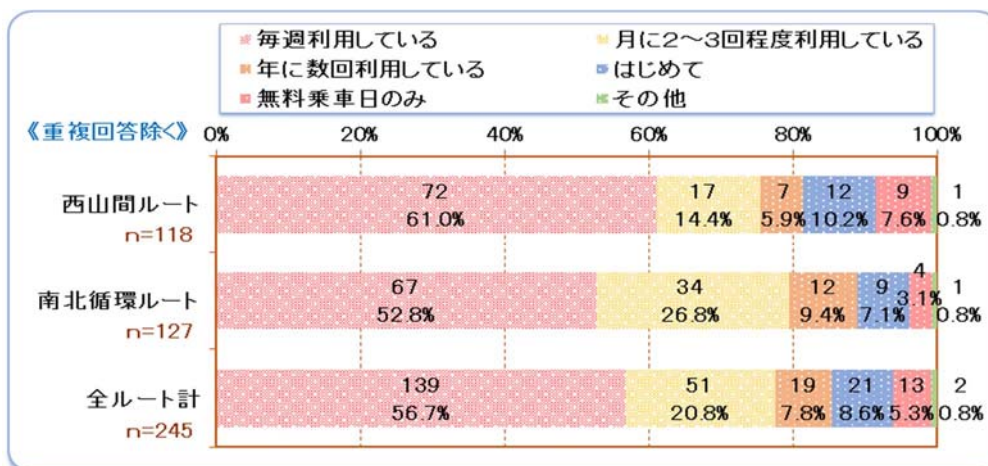
・全体では、「買い物」24.8%(62)、「病院」19.6%(49)、「通勤・通学」19.2%(48)の順となっている。

・無料乗車日だから利用では、「通勤・通学」32.3%(10)、「その他」29.0%(9)、「遊び」25.8%(8)が多くなっている。

「その他」では、「町めぐり」(4人)、「バス体験」(2人)、「町内一周」等が主な内容となっている。

(5) コミュニティバスの利用頻度はどのくらいですか。

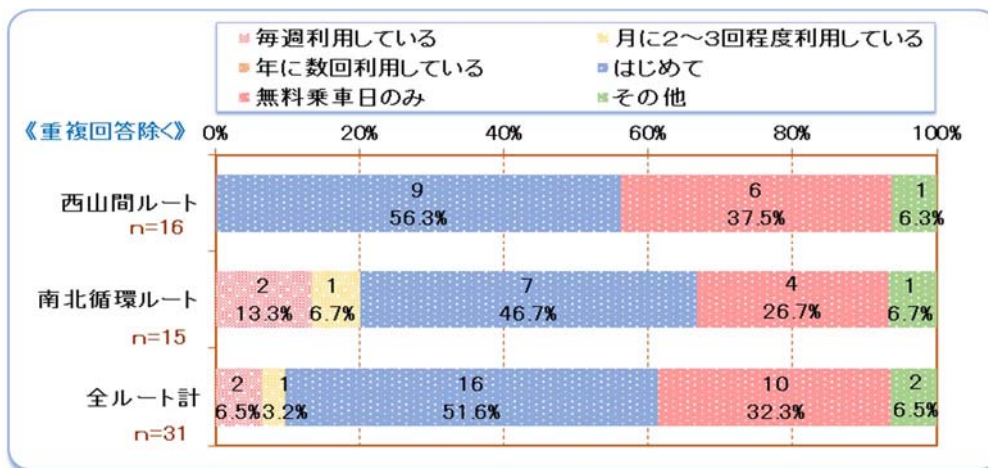
【全体】



■「毎週利用している」人の利用頻度

週に1回	19件	週に4回	6件
週に1~2回	10件	週に4~5回	4件
週に2回	26件	週に5回	23件
週に2~3回	15件	週に5~6回	4件
週に3回	17件	週に6回	6件
週に3~4回	6件	計	136件

【無料乗車日だから利用】



■「毎週利用している」人の利用頻度

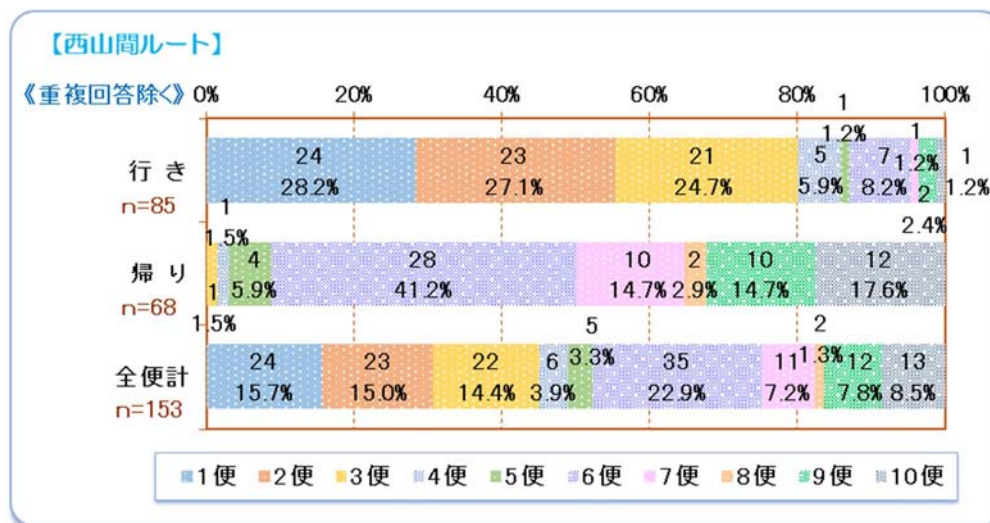
週に3回	1件	週に5回	1件
		計	2件

・全体では、「毎週利用している」56.7% (139)と「月に2~3回利用している」20.8% (51)が、77.5% (190)を占めている。頻度としては、「週に2回」、「週に5回」が多くなっている。

・無料乗車日だから利用では、「はじめて」51.6% (16)が、半数以上を占めている。

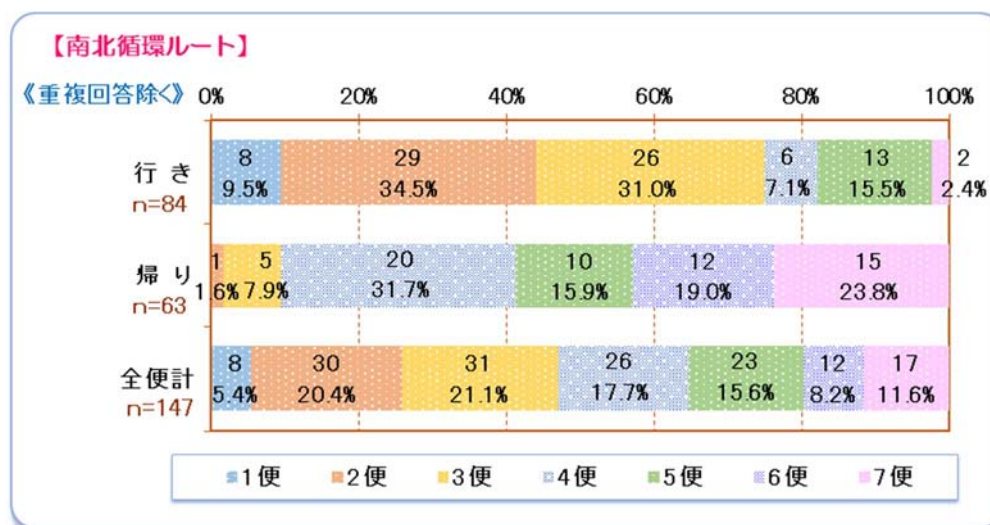
(6) 平群町コミュニティバスで多く利用する便はどれですか。

【西山間ルート】(全 10 便運行)



- ・全体では、6便(22.9%)、1便(15.7%)、2便(15.0%)の順となっている。
- ・行きでは、1便(28.2%)、2便(27.1%)、3便(24.7%)の順となっている。
- ・帰りでは、6便(41.2%)、10便(17.6%)、7便・9便(14.7%)の順となっている。

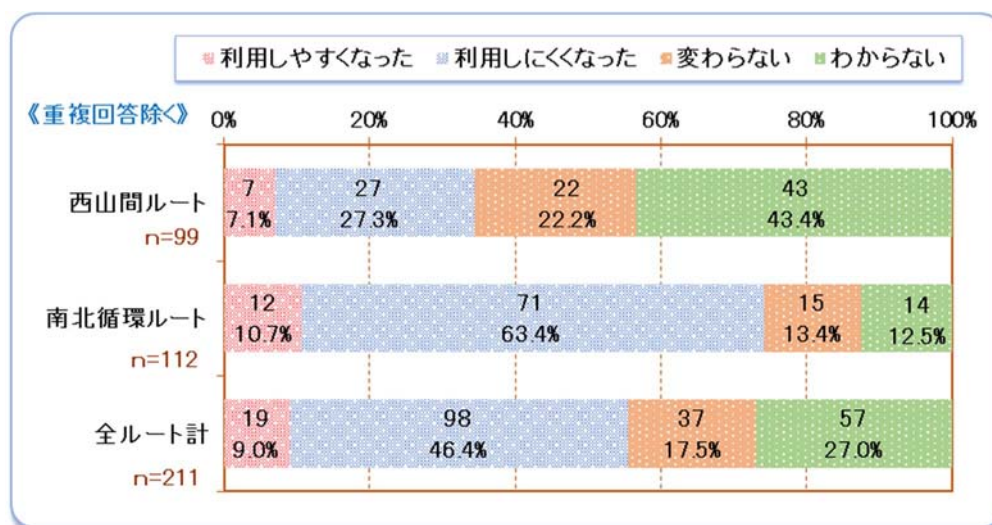
【南北循環ルート】(全 7 便運行)



- ・全体では、3便(21.1%)、1便(20.4%)、4便(17.7%)の順となっている。
- ・行きでは、2便(34.5%)、3便(31.0%)、5便(15.5%)の順となっている。
- ・帰りでは、4便(31.7%)、7便(23.8%)、6便(19.0%)の順となっている。

(7)コミュニティバスのルート、ダイヤが平成30年4月から新しくなって、より利用しやすくなったと思いますか。またその理由を教えてください。

- ・全体では、「利用しにくくなった」46.4% (98)が最も多く、次いで「わからない」27.0% (57)となっている。
- ・西山間ルートでは、「わからない」が43.4% (43)と最も多く、南北循環ルートでは「利用しにくくなった」が63.4% (71)を占めている。



■西山間ルート

利用しやすくなった理由		利用しにくくなった理由	
バスダイヤ	時間帯の変更	バスダイヤ	回数が減っている
バス路線	家の近くに停まる		便が減ったため
	自分の行動範囲では利便が良かった		走ってない時間帯がある
			下りの便数が少ない
			朝の時間帯の変更
			時間の変更(2回答)
			時間が変わった
			時間帯が合わなくなった
		利用	



■南北循環ルート(1/2)

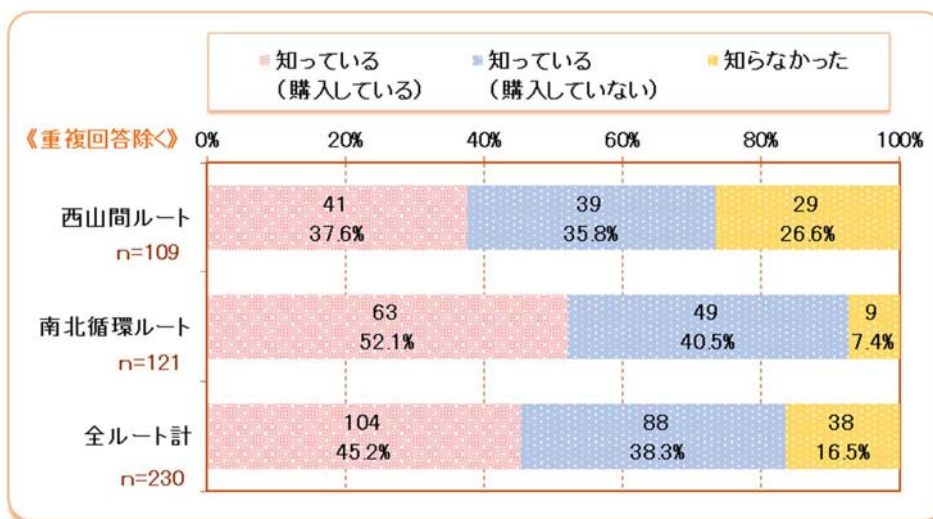
利用しやすくなった理由		利用しにくくなった理由	
バスダイヤ	時間が合う	バスダイヤ	利用したい時間帯の便が無くなった
	駅に行くバスが増えた		丁度良い時間がないから
	一番最初がもっと良かった		目的時間に合わない
バス路線	前より良くなった。乗車時間が短くなって良かった		行き帰り利用していたが帰りの便がなくなったから
	ルートが変わった		遠回りになり時間がかかりすぎ
	ビッグエクストラへ行ける様になって良かった		目的時間に間に合わない
			午前中時間が合わなくなった
			朝早い便が無くなったから(2回答)
			遅い時間がない
			時間帯が不便になった
			時間帯、ダイヤ減っている
			時間が早かった
			時間帯が早い方が良い
			おけいこの時間に間に合わない
			電車の乗り継ぎが悪い
			眼科1台しかない。通院するのに本数が少なくなって不便
			買い物する時には利用しにくくなった
			本数が少なくなって利用しにくい
			利用していた便が無くなったから
			竜田川駅の利用していた便が無くなった
			時間合わなくなった(3回答)
			前のダイヤの方が良い
			ダイヤが少なくなった。買い物に行っても時間をつぶさないとバスの時間に合わない
			本数が少なくなったから
			本数が減った(2回答)
			東山駅発なくなった
			本数が減ったから利用しにくくなった
			時間がうまく合わない。約束とかしていても利用しにくくなった
			ダイヤが少なくなった
			本数が少なくなった。A-COOPに行くのに便利なダイヤだった
			以前のダイヤの方が便利良かった
			生協からの帰りの便が無くなったから
			帰りの便が減った
		時間帯が変わった	
		時間が合わなくて駅まで徒歩で行くことになった	

■南北循環ルート(2/2)

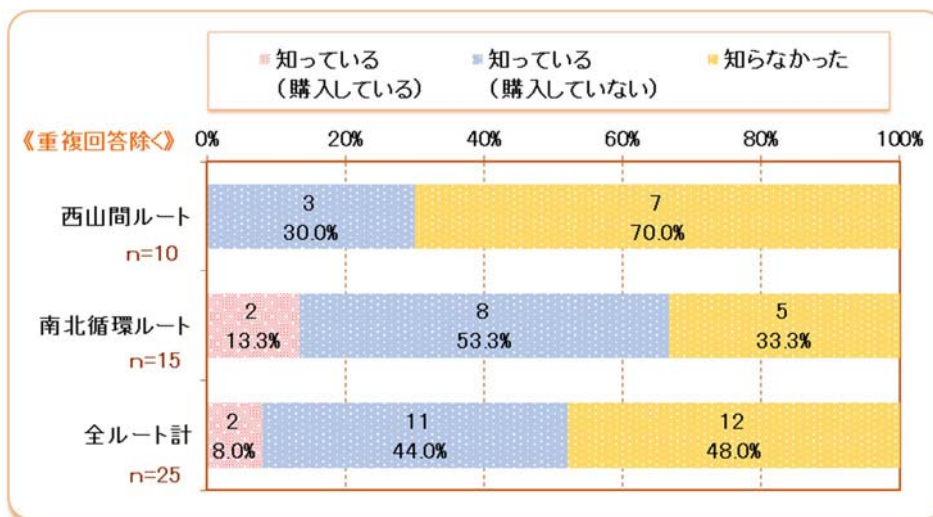
利用しやすくなった理由		利用しにくくなった理由	
		バスダイヤ	ダイヤが合わない。利用する者には迷惑な話
			利用しにくいから利用しない様になった
			10時台、11時台、13時半のバスがなくなったから
			時間帯を変えてほしい
			不便。時間が合わない
			東山駅、竜田川駅へ行くのは不便
			時間が病院に間に合わない。→東山駅から近大へ行くのに
			買い物をするには便利になった。本数が少ない
			電車との乗り継ぎ悪い。16:20のバス
			利用していた便が減った
			時間が合わない
			前のダイヤの方が良かった。利用回数も倍ほど使ってた
			朝のバスが少なくなったから
			本数が少なくなって不便
			プリズムへの便が減った
			東山駅の利用したい便がなくなった。生協への直通便がなくなった
			東山出るのに便が2便しかない。帰り平群からしか乗れない
			前の方が良かった(3回答)
			東山駅からのルート、第4便しかないのが不便。
			一番最初が良かった
		バス路線	ルート変更で不便

(8)平群町ではコミュニティバスの回数券(11枚綴り1,000円)とフリー乗車券(1枚(1ヶ月有効)3,000円)を発行していますが、ご存じでしたか。

**【全体】**



**【無料乗車日だから利用】**

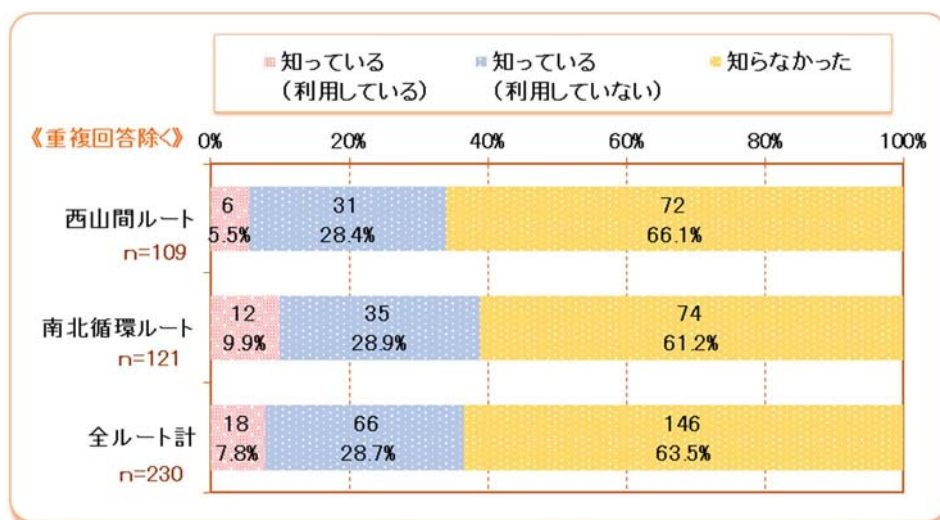


・全体では、「知っている」が 83.5% (192) を占め、そのうち「購入している」は 45.2% (104) となっている。

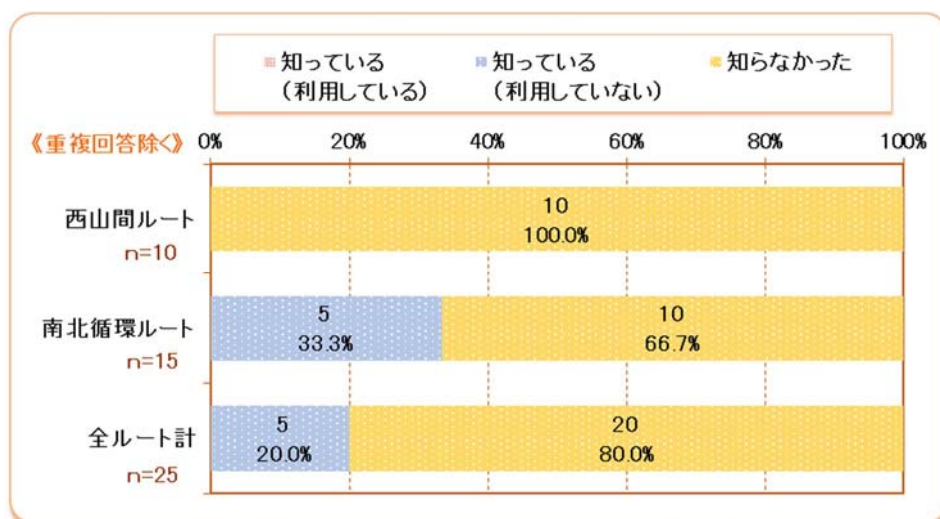
・無料乗車日だから利用では、「知っている」が 52.0% (13) を占め、そのうち「購入している」は 8.0% (2) となっている。

(9) 平群町では高齢者運転免許証返納者へコミュニティバス回数券補助を実施していますが、ご存じでしたか。

**【全体】**



**【無料乗車日だから利用】**



- ・全体では、「知らなかった」が 63.5% (146) を占め、「知っている」36.5% (84) のうち「利用している」は 7.8% (18) となっている。
- ・無料乗車日だから利用では、「知らなかった」が 80.0% (20) を占め、「知っている」20.0% (5) のうち「利用している」はいなかった。

(10) 平群町コミュニティバスに対するご要望・ご意見などがあれば教えてください。

■「満足」意見	
	ありがたい。
	助かります。採算性の問題があるが、続けてほしい。
	助かっています。
	便利に使わせてもらっているのがありがたい。
	ドライバーさんはいい人ばかり。バスは乗りやすい。
	便利に使わせてもらっているのがありがたい。

■「要望・改善」意見	
ダイヤ	平群駅に行く9時台のバスがほしい。
	前の時間にもどしてほしい。
	9時頃に総合スポーツセンターに着く便がほしい。
	以前のルート・ダイヤにしてほしい。
	以前と同時刻のダイヤにして欲しい。
	これ以上本数減らさないで欲しい。
	鉄道との乗り継ぎ時間を合わせてほしい。
	電車と同時刻に着いて出発する時間のバスを時間調整（5分くらい）してほしい。
増便	第1便以前と第10便以降も運行してほしい。
	便数を増やしてほしい。
	午後の便を増やしてほしい。
	本数を増やしてほしい。
	朝早い便を出して欲しい。
	遅い時間のダイヤを増やしてほしい。
	時間変更してほしい。東山から増便してほしい。
	東山駅からの便を増やしてほしい。
	1時間1本運行して欲しい。
	最終便（19時～20時頃）を走らせてほしい。
	プリズムへぐり行きのを増やしてほしい。
	福貴畑の方の小・中学生の帰りの便を増やしてほしい。
	時間に合わせた本数を増やしてほしい。
	公民館、役場に行く便を増やしてほしい。
	東山駅、竜田川駅へ行くのも、午後に行く時間を増やしてほしい。
	値段に関係なく本数を増やしてほしい。
東山ルートがお昼の便が少ない。	
時間帯が合わない時が多いので便数を増やしてほしい。	
便数が多い方がよい。効率的に路線を絞り、便数を増やす。	
初めて乗りましたが、本数がもっとあればぜひ乗りたいです。	
デマンド	乗合タクシーなどオンデマンドを作してほしい。

■「要望・改善」意見

土日祝運行	土日祝も運行してほしい。
	土日でイベントのある日の便がほしい。
	土日どちらか運行して欲しい。
	土日に運行してほしい。
バス停留所	病院の前に止まるバス停がないので作ってほしい。
	平群中学校前のバス停がほしい。
	ゆめさとこども園に停まってもらいたい。
	平群駅のバス停の屋根が高いので風で雨が入ってくるので低くしてほしい。 「菴田川駅西側」バス停のベンチが壊れていて危ない（線路側のベンチ）。足が悪いので座りたいが座れない。
バス車両	バスの中の通路が狭いので広くしてほしい。
	ワンステップバスにしてほしい。
路線	福貴畑集落センター辺りと東山からの1本がほしい。
	かしのき荘方面に行くバスを作ってほしい。
	西山間ルートを超スーパーのビッグエクストラまでのぼしてほしい。
	若葉台の方から乗り入れしてほしい。
	西庄地区まで延伸してほしい。
	「若葉台方面」にも運行してほしい。
	かんぼの宿を通る便を復活させて欲しい。
	行きと帰りのルートが違ってややこしい。
	町の行事がある場所までバスでは行けない。行事に参加して欲しいと町が希望するなら交通手段を考えてほしい。
年をとると車がないと不便。若葉台を通っていないから、バスがないと通院などできないと困る。平群をはなれたくないがはなれざるを得ない。 シンプルなコースにしてほしい。ムダがある。春日丘なんかいらぬ。	
料金	100円では安い。無料なので一周してみた。
	無料だから乗車しました。
ドライバー	ドライバーさんはいい人ばかり。
	運転手さんによってあいさつをしてくれる人としてくれない人がいる。 前に平群駅に行くバスが、1～2分遅れただけで出発してしまった。次のバスまで1時間以上あるのに。運転手さんに言ったら、時刻通りに出発します、と言われた。
継続	ルートをなくしてほしくない。
	廃止しないでください。
	継続はぜったいにしてほしい。次の町長候補はバス廃止なので反対。
	乗らなければ廃止になると思い、たまに乗車。もっと本数を増やした方がいい。
	次の町長選でバス廃止を唱えているので心配している。（バスがなくなるので）やめないで下さい。
	廃止は困る。
	料金が高くなっても良いので、廃止しないでほしい。
	バスが無くなるのは本当ですか？ バスを走らせて欲しいと言ってる人で、乗ってる人を見た事がない。

■「要望・改善」意見

情報	バスの無料乗車日の情報がなかった。バスに乗車して初めて知った。
交通安全	平群中のバス停、降りてからが車が多くてあぶない。
	朝は車が両方とも激しく通るので、中学校へ横断がしにくく危ないです。誘導の人がいてくれたらと思います。
交通安全	路上駐車が多く危ない（特に「若井」周辺）
	竜田川周辺のバスルートで、路上駐車が両側に停まっていて、バスが通れなかった。何回もこんな事がある。いつも運転手さんが困っていて気の毒。「コミュニティバスのルート」「路上駐車しないように」等の看板を立てるか考えて下さい。

■その他の意見

要望はいままで何度も出したけど通らない。叶わないから話したくない。

■ヒアリング調査票（西山間ルート）

《西山間ルート》

平群町 コミュニティバス ヒアリング調査	調査日	年 月 日 ( )		第 便	子供連れ	重複
	性別	男 女	年代			

※午後便において、午前に調査した人が乗車した場合は、重複にチェックを入れ、「乗車地・降車地」のみ調査

平群町コミュニティバス利用者ヒアリングシート 《西山間ルート》

平群町ではコミュニティバス利用者のご意見を収集しております。ご協力よろしくお願いいたします。

(1) 本日は平群町コミュニティバスの無料乗車日ですが、ご存じでしたか。

1. 知っている      2. 知らなかった

(2) 本日が平群町コミュニティバスの無料乗車日だから利用しましたか。

1. 無料乗車日だから利用  
⇒ 日頃利用しない理由( )  
2. 無料乗車日以外も利用

(3) どちらまで行かれますか？(番号にマーク 乗車：○ 目的地：△)

1 平 群 駅	2 平群町役場	3 中央公民館前	4 老人福祉センター前	5 大空の家西	6 元山上口駅
7 上庄農村環境改善センター	8 上庄自治会館前	9 上 庄 東	10 月 見 台	11 東 山 駅	12 くまがし橋西
13 緑ヶ丘大谷公園北	14 鳴 川	15 櫛 原	16 福貴畑集落センター北	17 福貴畑集落センター	18 福貴畑大石橋下
19 久安寺北垣内入口	20 久安寺久保入口	21 信貴畑集落センター	22 信貴畑待合所	23 旧西小学校	24 総合スポーツセンター
25 大津門池	26 福貴団地	27 はなさとこども園	28 平群中学校	29 道 の 駅	30 ザ・ビックエストラ平群西

(4) 利用目的を教えてください。

1. 通勤・通学    2. 買い物    3. 病院    4. 用事    5. 飲食    6. 遊び    7. その他( )

(5) 平群町コミュニティバスの利用頻度はどのくらいですか。

1. 毎週利用している → (週に 回)    2. 月に2～3回程度利用している    3. 年に数回利用している  
4. はじめて    5. 無料乗車日のみ    6. その他( )

(6) 平群町コミュニティバス(西山間ルート)で多く利用する便はどれですか。(行き：○、帰り：△)

第1便	第2便	第3便	第4便	第5便
第6便	第7便	第8便	第9便	第10便

(7) 平群町コミュニティバスの運行ルート・ダイヤが平成 30 年 4 月から新しくなって、より利用しやすくなりましたか。

それとも利用しにくくなりましたか。またその理由を教えてください。

1. 利用しやすくなった    2. 利用しにくくなった    3. 変わらない    4. わからない  
理由( )

(8) 平群町ではコミュニティバスの回数券とフリー乗車券(1枚(1ヶ月有効)3,000円)を発行していますが、ご存じでしたか。

1. 知っている(購入している)    2. 知っている(購入していない)    3. 知らなかった

(9) 平群町では高齢者運転免許返納者へのコミュニティバス回数券補助(1回のみ)を実施していますが、ご存じでしたか。

1. 知っている(利用している)    2. 知っている(利用していない)    3. 知らなかった

(10) 平群町コミュニティバスに対するご要望があれば教えてください。

(運行ルート、運行ダイヤ、デマンド運行、近鉄電車との接続、等)

以上です。ご協力ありがとうございました。

西山間ルート(第1・2・3・4・5・6・7・8・9・10便)



■ヒアリング調査票（南北循環ルート）

《南北循環ルート》

平群町 コミュニティバス ヒアリング調査	調査日	年 月 日 ( )		第 便	子供連れ	重複
	性別	男 女	年代			

※午後便において、午前には調査した人が乗車した場合は、重複にチェックを入れ、「乗車地・降車地」のみ調査

平群町コミュニティバス利用者ヒアリングシート 《南北循環ルート》

平群町ではコミュニティバス利用者のご意見を収集しております。ご協力よろしくお願いたします。

(1) 本日は平群町コミュニティバスの無料乗車日ですが、ご存じでしたか。

1. 知っている      2. 知らなかった

(2) 本日が平群町コミュニティバスの無料乗車日だから利用しましたか。

1. 無料乗車日だから利用  
⇒ 日頃利用しない理由( )  
2. 無料乗車日以外も利用

(3) どちらまで行かれますか？（番号にマーク 乗車:○ 目的地:△）

1 平群駅	2 平群町役場	3 中央公民館前	4 老人福祉センター前	5 大空の家西	6 上庄農村環境改善センター
7 上庄自治会館前	8 月見台	9 東山駅	10 上庄東	11 長屋王御陵公園東	12 三里南交差点
13 道の駅	14 ザ・ビッグエクストラ平群店	15 橋井交差点南	16 北信貴ヶ丘自治会館	17 竜田川園地3号公園	18 竜田川ネオポリス
19 竜田川ネオポリス北	20 竜田川団地入口	21 竜田川駅東側	22 春日丘会館	23 春日丘中三条通南	24 春日丘中五条通北
25 竜田川駅西側	26 プリズムへぐり	27 旧南保育園	28 榑原	29 平群町人権交流センター	30 若井2号公園南
31 若井新池前	32 初香台四丁目	33 初香台1号公園	34 光ヶ丘二丁目	35 森脇橋	

(4) 利用目的を教えてください。

1. 通勤・通学    2. 買い物    3. 病院    4. 用事    5. 飲食    6. 遊び    7. その他( )

(5) 平群町コミュニティバスの利用頻度はどのくらいですか。

1. 毎週利用している →(週に 回)    2. 月に2～3回程度利用している    3. 年に数回利用している  
4. はじめて    5. 無料乗車日のみ    6. その他( )

(6) 平群町コミュニティバス(南北循環ルート)で多く利用する便はどれですか。(行き:○、帰り:△)

第1便	第2便	第3便	第4便	第5便
第6便	第7便			

(7) 平群町コミュニティバスの運行ルート・ダイヤが平成 30 年 4 月から新しくなって、より利用しやすくなりましたか。

それとも利用しにくくなりましたか。またその理由を教えてください。

1. 利用しやすくなった    2. 利用しにくくなった    3. 変わらない    4. わからない  
理由( )

(8) 平群町ではコミュニティバスの回数券とフリー乗車券(1枚(1ヶ月有効)3,000 円)を発行していますが、ご存じでしたか。

1. 知っている(購入している)    2. 知っている(購入していない)    3. 知らなかった

(9) 平群町では高齢者運転免許返納者へのコミュニティバス回数券補助(1回のみ)を実施していますが、ご存じでしたか。

1. 知っている(利用している)    2. 知っている(利用していない)    3. 知らなかった

(10) 平群町コミュニティバスに対するご要望があれば教えてください。

(運行ルート、運行ダイヤ、デマンド運行、近鉄電車との接続、等)

以上です。ご協力ありがとうございました。

南北循環ルート（第1・2・3・4・5・6・7便）

## 視察研修報告

視察日	平成30年7月25日(水)
参加者	会長、副会長、事務局3名
視察先	和歌山県日高郡みなべ町(人口:12,877人、面積:120.28km <sup>2</sup> 、南部町と南部川村合併:H16) 町長(途中退席)担当課:総務課 参事兼課長
視察目的	デマンド交通を運行している自治体の現状を把握することで、平群町での運行計画検討の参考とするため。

## 視察概要:概要説明及び質疑応答

## 町内公共交通

- ・鉄道:JR紀伊本線(南部駅、岩代駅):南部駅には特急止まる、普通電車が1時間に1本程度
- ・路線バス:国道42号沿い:南部駅~田辺市方向
- ・コミュニティバス
- ①定期バス:旧龍神バス路線(5便/日)の廃止に伴う代行運行:南部タクシー委託
  - ・ジャンボタクシー(10人乗り)
  - ・月~金(日、祝祭日、正月運休)・1日2往復
- ②デマンドバス:3区分に分けて運行(中心部・山間部・岩代):南部タクシー委託
  - ・定時定路線の迂回路型デマンド
  - ・ジャンボタクシー(9人乗り):2台
  - ・予約:前日、9:00~16:00 料金:300円(150円)
  - ・中心部:火曜と正月三が日以外運行(主目的である鶴の湯温泉が火曜日休みのため)
  - ・山間部:東部(月・水・金運行)、西部(火・木・土運行)
  - ・岩代:火・木・土運行
  - ・タクシー:南部駅前に南部タクシーあり

## 運行乗降

- ・コミュニティバス利用実績(定期バス以外):H19:8,964人、H29:4,853人(46%減少)
- 中心部:H19:3,607人、H29:1,265人(64%減少)
- 中山間:H19:2,118人、H29:1,226人(42%減少)

## 運行経費

	運行期間	車両(台)	計画人数	委託金額:千円	備考
第1期	H19.4.1.~H22.3.31	9人乗ワゴン:1(町有) 5人乗セダン:5	9,600人/年 800人/月	運賃収入:2,880 委託料:7,920 計:10,800	
第2期	H22.4.1.~H26.3.31	9人乗ワゴン:2(町有)	9,000人/年 750人/月	運賃収入:2,700 委託料:8,100 計:10,800	
第3期	H26.4.1.~H30.3.31	9人乗ワゴン:2(町有)	8,040人/年 670人/月	運賃収入:2,412 委託料:8,400 計:10,812	新車購入費を委託料に追加
第4期	H30.4.1.~H34.3.31	9人乗ワゴン:2(町有)	6,000人/年 500人/月	運賃収入:1,800 委託料:9,000 計:10,800	前期期間の利用者数をベースに算定

- ・従前の路線バス補助額1,600万円が900万円への負担軽減で住民合意は取れている
- ・8割は国等の補助で賅っている。
- ・利用者が計画より減ればその分を町が補填する。

## 利用者減少理由

- ・高齢者の減少(特に運転免許を持たない世代):鶴の湯温泉利用者の減少(中心部)
- ・運転免許保有者が返納しない(H30年度より返納支援を実施:返納時1回のみ)
- ・移動販売車の存在で買い物機会の減少(中山間部)

質疑応答等

Q：南部タクシーの委託料 10,800 千円は固定成功ですか？

A：固定している。運行開始時に細かく積算した結果となっている。  
タクシー会社の雇用問題もある。

Q：JR 駅での乗り継ぎはありますか？

A：特急も止まるが、普通電車が 1 時間に 1 本程度で、鉄道からのコミバス乗り継ぎはない。

Q：デマンド運行ルート図の実線ルート、時間は固定ですか？ 予約がなければ運休ですか？

A：ルート、ダイヤは目安となっている。予約がなければその便は運休となる。  
ルートはドライバー任せ。停留所での乗降が基本であるが、家の位置によっては家まで送迎している場合もある。それもドライバー任せとなっている。

Q：停留所には目印はありますか？

A：普通のバス停留所と同じものが立っている。ダイヤも貼っている。  
デマンドなので最初に利用する方に利用方法等が判りにくい。

Q：隔日運行について、曜日変更の要望はないのですか？

A：要望があったこともあるが、いまは定着している。

Q：利用促進でなにかありますか？

A：高齢者の運転免許保有者はバスを利用しない。  
京丹後市のようなボランティアによる自家用運送を国から導入できないか打診があったが、当町には南部タクシーがあるので断念した。

Q：福祉タクシーはありますか？

A：ある。障害者手帳などの利用制限がある。

Q：デマンド運行でドアツードアの要望がありませんか？

A：街なかにはあった。電動車いすでは打診したが道が狭いので危険を指摘されている。  
中山間は電動車椅子の利用者が増えた。

Q：観光利用はないのですか？

A：コミバスの観光客利用はない。  
梅林には民間バスが臨時便を運行している。  
ロイヤルホテルはインバウンドが増加して年間 4 万人あるがコミバス利用はない。  
ウミガメ観光はいままで保護の観点から表にだしていなかったが、教育委員会が入場制限で対応するようになった。また、大学の研究施設が老朽化したので建替を町で負担して、「ウミガメ館」として完成したところだ。

Q：南部タクシーへの委託料の内容はどうなっていますか？

A：ガソリン・オイル等の維持費、保険、代車、ドライバー費、予約手数料等となっている。

Q：コミバスの陸運局への申請はエリアですか？

A：エリア申請である。道路を特定していないので交通会議に道路管理者、警察は参加していない。

Q：コミバス利用者は固定化されていますか？

A：固定化している。個人利用との非難を受けるまでにはなっていない。

Q：スクールバスはありますか？

A：2 台（南部タクシー）と、2 台（他の交通事業者）を運行している。  
国道 4 2 号沿いは民間路線バス利用のための料金補助で対応している。

Q：保育園、幼稚園バスはありますか？

A：園までの通園は保護者義務として、車を町から提供し、運行は保護者会で運行している。  
持ち回りなどで保護者が対応している。

（その他）

Q：南海トラフの対応はどうですか？

A：海辺の幼稚園、保育園は山手に移転、避難路の拡幅整備を実施。  
避難タワー設置により津波到達時間 15 分以内での避難困難地域は解消された。  
現在の防災課題は、地震によるブロック塀対策、補助金制度はあるが増額を検討中。

視察状況写真

■協議状況



■南部タクシー訪問



■コミュニティバス



■乗合タクシー



■定期バスとコミュニティバス



■コミュニティバス停留所



視 察 日	平成31年2月27日(水)
参 加 者	会長、副会長、事務局2名
視 察 先	滋賀県高島市(人口:48,930人、面積:693km <sup>2</sup> ) マキノ町・今津・新旭町・安曇川町・高島町・朽木村の6町村合併:H17.1.1 担当課:交通政策課(課長含め4名体制):課長、参事
視察目的	路線バス、コミュニティバス、デマンド交通を運行している自治体の現状を把握することで、平群町での運行計画検討の参考とするため。

#### 高島市公共交通の概要

- ・鉄道 : JR湖西線(近江高島・安曇川・新旭・近江今津・近江中庄:無人駅・マキノ駅)  
特急サンダーバードは近江今津駅のみ停車:朝・夜の3往復
- ・路線バス:福井県小浜⇄近江今津駅(若江線:JRバス)、安曇川駅⇄朽木(朽木線:江若交通)
- ・コミュニティバス:11路線
- ・乗合タクシー:定時⇒1路線、予約⇒9路線
- ・市営バス:旧朽木村内4路線(自家用有償運行:3路線は定時)、市嘱託職員(10名)・6台(14乗り)
- ・タクシー:近江タクシー、大津第一交通

#### 高島市公共交通の現状

##### ■移動ニーズ

路線バス	若江線	京阪神と若狭地域を結ぶ最短ルート(関電・企業社員多い)
	朽木線	朽木地域と鉄道を結ぶ幹線バス。(H31.4から朽木支所まで路線短縮)
コミュニティバス	(主な利用理由)	
定時乗合タクシー	○小・中学生の通学	
予約型乗合タクシー	○高齢者の通院・買い物	
市営バス	○観光(特に外国人観光客が少しずつ増加:スキー場目当てが多い)	

##### ■収支関係

		収益(千円)	経費(千円)	収支(千円)	摘要
路線バス	若江線	93,000	120,000	△27,000	市負担:400万円
	朽木線	31,000	74,000	△43,000	市負担:3,000万円 県負担:1,300万円
コミュニティバス		31,000	176,000	△145,000	収支率平均:17.6%
定時乗合タクシー		3,100	20,000	△16,900	収支率:7.5%
予約型乗合タクシー					収支率:21.5%:距離清算
市営バス		2,500	41,000	△38,500	収支率平均:6.2%、過疎債・県補助
市合計		161,000	433,000	△272,000	市負担額:236,000千円

- ・合併基金を利用して補助額補填をしていたがH31(R1)年度で残金ゼロのため、R2年度から一般財源からの補助となる。

##### ■公共交通の課題

- ・財歳負担の軽減(現在:2.36億円)
- ・通学専用バス(教育委員会所管)との統合(国指導:移動ニーズの集約)
- ・採算性の低い路線(収支率10%未満または高額赤字額)のデマンド(予約乗合)化
- ・高齢化、運転免許返納に対応できる路線網の維持

##### ■その他の取り組み

- ・ふるさと納税を活用したバス車両更新補助金:1,500万円/年をバス会社支援に

##### ■その他の課題

- ・市内事業者(バス3社、タクシー2社)の乗務員の高齢化

定年:60~72歳、最高齢の乗務員:71歳

➡ 3~5年後に乗務員不足が顕在化

- ・大型2種免許所持者の減少、採用困難

⇒以上のことから、乗務員不足による路線廃止の可能性も考えられる。

質疑応答等（1/2）

- Q：高島市独自の公共交通継続評価のための評価基準や考えはありますか。  
A：特にありません。収支率10%未満の路線を対象にデマンド化を検討したいと考えています。
- Q：乗合タクシーは距離清算ですか。  
A：実際の走行距離でタクシー会社とは清算しています。  
運行路線は路線認可時にショートカット路線も申請しています。
- Q：デマンドはドアツードアではなく、路線固定ですか。  
A：路線固定です。地域運行はしていません。
- Q：運行時刻は決まっていますか  
A：路線、停留所、時刻は決めています。区域運行事例は滋賀県内（長浜市・守山市等）にもありますが、面積が広い高島市全域では経費が多くなり合わないのです。  
実証実験して利用が少なければ運行中止の事例（大津市）もありますが、高島市では実証実験後の中止は難しいと考えています。  
区域運行だと路線バス等との競合の問題もあります。
- Q：乗合タクシーの予約受付のオペレータ経費はタクシー会社負担ですか。  
A：路線、ダイヤ運行なので、普通のタクシーの受付と変わらないのでタクシー会社負担でお願いしています。
- Q：平群町では路線バス運行の空白地を町コミュニティバスが運行しており、町全域をデマンド化するとコミュニティバスを廃止する方向になります。何かアドバイスがあれば。  
A：高島市では区域運行導入をバス会社と協議をはじめました。バス会社からはバス運行時間帯（朝夕の通勤時間帯）を外した日中の時間の運行であればとの声もありました。
- Q：コミュニティバス、乗合タクシーの導入は同時期ですか。  
A：旧町村でコミュニティバスをそれぞれで運行しており、乗合タクシーは平成23年度からです。
- Q：平群町では町民からドアツードアの要望が多いのです。  
A：ドアツードアについては市民よりは議員からの意見として聞いています。  
市民には停留所があるのでタクシーとの住み分けができていると説明しています。
- Q：ドアツードアはタクシー事業になりますか。  
A：国からは高島市はタクシー事業者がいてタクシーが呼べる地域と言われています。  
1度、地域住民主体の白ナンバーについて国に相談したときにも、国からはタクシーを利用してくださいと回答されたと聞いています。
- Q：市営バスは白ナンバーで運行していますか。  
A：旧路線バスの代替路線として有償運送バスとして認可されています。  
1種免許でも講習受講で運転可能で、運行管理責任者制度規制も一部緩和されます。
- Q：コミュニティバスは無休ですか。  
A：正月三が日以外は無休です。宮津市では運転手不足から毎日運行を隔日、土日運休を導入した経緯があり、いずれは高島市でも問題となることは認識しています。  
今後、利用ニーズも把握しながら、土日運休も検討すべきと考えています。
- Q：小中学生の通学はこれで対応できていますか。  
A：通学利用は人数が少ないです。専用スクールバス（バス会社に委託）もあります。
- Q：乗合タクシー導入については、タクシー補助券利用の方が経費を安くできるのではないのでしょうか。  
A：運行区域によりますが、タクシー車両では通勤通学対応が難しくなるので、路線バスや定時乗合タクシーでの対応になるのでは。ドアツードアは目的地、到着時間が読めないので運行が難しくなります。
- Q：運転免許を取得済みの高齢者が増えているなど、バス利用者の減少は必然であり、対応は難しい。赤字軽減策を考えていきたいのですが。  
A：市民の意見の多くは、「いまは車があるから公共交通は乗らない」、でも「いずれ必要となるので廃止は困る」となっています。今必要な方は、現状を受け入れてバスを利用しており、利用していない方から「バス停が遠い」、「便が少ない」などという意見が多いです。継続のためにいくらまでなら補助できるのか決めないといけません。

質疑応答等（2/2）

Q：免許返納支援はしていますか。

A：していません。

検討した時に交通事業者から誰が経費負担をするか問われた経緯があります。

Q：コミュニティバスは1便の運行時間が30分から1時間で設定されているようですが、団地内通過は少なく、幹線道路沿いを通過しているように思いますが。

A：旧町ともにJRの駅が起終点であり、1時間程度としていました。エリアの広さの問題もあります。

Q：バスの乗り継ぎは考えていますか。

A：1回の乗り継ぎは想定しました。JRとの乗り継ぎは朝夕の通勤・通学時間帯は考えましたが、日中は無理でしょう。

朝夕は通勤・通学なので時間は短い方が良いですが、高齢者は駅で乗り継ぐのに時間が掛かるので時間がある方がよいし、また、観光客もパンフで行き先探しやトイレ休憩などの時間が必要と考えますので、5分程度の時間ではタイトだといえます。

Q：地域主体が運行は考えていますか。

A：大津市では石山や晴海台で実施していますが、住民気質が違います。高島市は行政依存型であり、いまは考えにくいです。

Q：乗合タクシーの乗合率はどのくらいですか。利用者は固定化されていますか。運行廃止予定はありますか。

A：乗合率は約1.0人で、利用者は固定化されています。

市全体の補助に対する割合が低い、まずは補助額の高い路線が廃止対象と考えています。

Q：料金の見直し予定はありますか。

A：検討すべきと考えています。黒字は目指さないですが、上げすぎるとクレームが出るでしょう。

Q：空車で低料金の運行に対し住民から苦情はありませんか。

A：住民サービスと経費との整合性の問題、運行理由の明確化が必要と考えます。極論ですが、多くの利用があれば無料でもよいのではと考えます。

Q：福祉タクシーが健常者も送迎していることを問題視している自治体もあります。高島市は如何ですか。

A：問題化はしていませんが、グレーな運行として認識はしています。

Q：乗合タクシー利用者の推移はいかがですか。

A：平成23年の運行以来、利用者の推移に変化はありません。元々、利用者の少ない路線なので増加はありません。空で走ることのないように手当てをしています。

以上

視察状況写真

■協議状況



■安曇川駅横の送迎車両



■路線バス（JR／若江）



■コミュニティバス



■市営バス（旧朽木村内）



■乗合タクシー





## 《議案第2号》

## 平成30年度 平群町地域公共交通会議 収支決算書

## 歳入

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差引過不足額	摘要
1. 負担金	1,500,000	1,500,000	0	平群町負担金
2. 補助金	0	0	0	国、県補助金
3. 繰越金	657,722	657,722	0	前年度繰り越金
4. 諸収入	278	16	-262	預金利子
合計	2,158,000	2,157,738	-262	

## 歳出

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差引過不足額	摘要
総事業費				
1. 会議費	90,000	14,147	75,853	会議運営費
2. 事務費	90,000	68,289	21,711	事務手数料等
3. 事業費	1,950,000	1,306,800	643,200	事業検証・交通イベント等
4. 予備費	28,000	0	28,000	諸収入欠損充当等
合計	2,158,000	1,389,236	768,764	

歳入決算額(2,157,738円)-歳出決算額(1,389,236円)=768,502円  
 歳入歳出差引額 768,502円については、次年度繰越とさせていただきます。

上記決算を行ったところ、帳簿等と符合し正確なものと認めました。

令和元年 5月21日

監査委員

岡 嘉道



監査委員

藤本 奈智子



《議案第3号》

令和元年度 平群町地域公共交通会議 事業計画 (案)

	平成 31年	令和1年										令和2年			備考		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
平群町地域公共交通会議			■											■			2回
利用状況データとりまとめ		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
公共交通イベント実施 ・無料乗車日設定予定												■					1回
視察研修実施														■			2回
改善検討・関係機関協議等																■	

《議案第4号》

## 令和元年度 平群町地域公共交通会議予算（案）

## 歳入

（単位：円）

款	項	目	予算	説明
1 負担金	1 負担金	1 負担金	1,500,000	平群町負担金
2 補助金	1 補助金	1 補助金	0	国、県からの補助金
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	768,502	前年度からの繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	498	預金利子等
合計			2,269,000	

## 歳出

（単位：円）

款	項	目	予算	説明
1 運営費	1 会議費	1 会議費	110,000	会議運営費
	2 事務費	1 事務費	110,000	研修費等
2 事業費	1 事業費	1 事業費	2,000,000	事業費及事業検証費
3 予備費	1 予備費	1 予備費	49,000	予備費
合計			2,269,000	

## 《議案第5号》

## コミュニティバス1ヶ月フリー乗車券廃止について

平成27年度から発行されている「コミュニティバス1ヶ月フリー乗車券」については、利用が少なく、平成30年11月以降利用がないことなどから、今年度からフリー乗車券の発行は廃止とする。

## ・参考

平成27年度 フリー乗車券の利用16枚

平成28年度 フリー乗車券の利用20枚

平成29年度 フリー乗車券の利用23枚

平成30年度 フリー乗車券の利用 8枚（11月以降0枚）

## 令和元年度 第1回平群町地域公共交通会議 議事要旨

日 時：令和元年6月24日

場 所：商工会館 2階会議室

出席者：18名

### 1 開会

### 2 議事

議案第1号 平成30年度 事業報告

1. 平成30年度第1回平群町地域公共交通会議 議事要旨
2. コミュニティバスの平成30年度利用実績報告
3. 公共交通イベント実施報告
4. コミュニティバス利用者ヒアリング調査実施報告
5. 視察研修報告（和歌山県みなべ市・滋賀県高島市）

議案第2号 平成30年度 平群町地域公共交通会議 収支決算報告

議案第3号 令和元年度事業計画（案）

議案第4号 令和元年度予算（案）

議案第5号 コミュニティバス1ヶ月フリー乗車券廃止について

### 3 その他

#### 【配付資料】

資料-1：平成30年度事業報告

資料-2：平成30年度 第1回平群町地域公共交通会議 議事要旨

資料-3：平成30年度コミュニティバス利用実績（H30年度実績）

資料-4：公共交通イベント実施報告

資料-5：利用者ヒアリング調査実施報告

資料-6：視察研修報告（和歌山県みなべ町・滋賀県高島市）

資料-7：平成30年度平群町地域公共交通会議 収支決算書

資料-8：令和元年度事業計画（案）

資料-9：令和元年度予算（案）

資料-10：コミュニティバス1ヶ月フリー乗車券廃止について

## 【議事内容】

### 1 開会

#### 《会長挨拶》

会 長：令和元年度の第1回平群町地域公共交通会議の開催に当たりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

平群町の公共交通といたしましては、鉄道では近鉄生駒線の4駅があり、NCバスの路線バス、タクシー事業者の運行、平群町コミュニティバスの運行、福祉関係では福祉タクシー利用券の助成、社会福祉協議会によります福祉有償運送事業を実施しております。

平群町は高齢化率が高い地域であります。また、昨今、高齢者の交通事故の多発などにより免許返納者が増えています。高齢者の移動手段のひとつとして公共交通の利用促進を図っているところです。

委員の皆様方のご指導、ご協力のもと、地域の方々が安心して暮らせる活力あるまちづくりを進めるとともに、今後も持続可能な公共交通の確保を推進していきたいと考えております。本日の会議、よろしくお願い致します。

### 2 議事

#### ○議案第1号 平成30年度 事業報告

##### 1. 平成30年度第1回平群町地域公共交通会議 議事要旨

###### ○事務局より「資料-2」の説明

##### 2. コミュニティバスの平成30年度利用実績報告

###### ○事務局より「資料-3」の説明

議 長：今年度より2ルートになり、目標数には少し足りなかったけれど、最低需要基準は上回ったということで、できるだけ目標数に達するように今後とも努力をお願いしたい。

##### 3. 公共交通イベント実施報告

###### ○事務局より「資料-4」の説明

県タクシー協会：通常のとくと無料期間が終わった後、利用がふえているのか、そういう統計的なものはとっておられないのですか。

事務局：無料乗車以降ですが、毎月の乗車の推移は見ています。このとき同時にアンケートをとっていきまして、それを反映させながらと思っておりますが、いまのところ特段、ここをもう少し改善ということは事務局としてできていないのが現状です。

県タクシー協会：利用促進が重要だと思います。その後どれだけふえているのかを検証していただいたら、そのためにはどうすべきかが出てくると思います。今後、そういうところも含めてご検討いただきたいと思います。

#### 4. コミュニティバス利用者ヒアリング調査実施報告

##### ○事務局より「資料－5」の説明

長寿会：このなかで、高齢者運転免許証返納者へコミュニティバス回数券補助を実施しているのを知っているかとの質問に対して、66.1%が知らなかった。運転免許証返納に踏み切った人はかなりの決断をもって返納しておられるのだと思うのですが、町では運転免許証を返納した人にコミュニティバスを利用してもらうようなアピールはしていますか。

事務局：町から運転免許証返納の方へのお知らせは、平成28年4月の広報で1回させていただき、その後も2回周知させていただきました。去年は広報などでお知らせしていないので、もう一度、広報などでやりたいと考えております。

長寿会：高齢者がどんどんふえていきますし、高齢者に危ない運転をしてもらわないためにも返納を進めないといけない時代に入っている。そういう人たちには100%知ってもらえないといけない。広報に載せるのは紙に書いただけだと思うので、視覚と聴覚の両方に訴えるような方法を考えていただければありがたい。

県タクシー協会：ダイヤ編成とか便数とか、そういうことについて、今後、この協議会の場で議論するというお考えがあるのですか。

事務局：いまのダイヤは平成30年度から運行しており、2年間、検証していこうと考えております。30年度と令和元年度の2年間の数値を出した上で、令和2年度に結果を議論して、ルートやダイヤを変更するのかどうかということも含めて、変更するのであれば令和3年度から行いたいと考えております。

議長：ヒアリングをして、「『要望・改善』意見」等でかなり意見を出していただいております。可能か不可能かはわかりませんが、できるだけ住民に則した形で運行ダイヤを考えてほしいと思います。

#### 5. 視察研修報告（和歌山県みなべ町・滋賀県高島市）

##### ○事務局より「資料－6」の説明

長寿会：先進地視察はいつも同じ人が行っていますが、例えば我々委員を参加させるというようなお考えはありますか。

事務局：平成30年度までは事務局が行かせていただいていたのですが、今年度は2回程度計画もありますので、どちらか1回は委員の皆様にお声をかけさせていただきたいので、ご検討をお願いします。

議長：議案第1号、1番から5番について承認される方は拍手をお願いしたい。

（拍手する者 多数）

議長：議案第1号承認されました。

○議案第2号 平成30年度平群町地域公共交通会議 収支決算報告

○事務局より「資料-7」の説明

議長：拍手で承認をお願いしたい。

( 拍手する者 多数 )

議長：議案第2号承認されました。

○議案第3号 令和元年度事業計画(案)

○事務局より「資料-8」の説明

議長：「公共交通イベント実施・無料乗車日設定予定」が11月になっております。「公共交通イベント」ほかに何かイベントを開催する予定はありますか。

事務局：いまのところございません。

議長：拍手で承認をお願いしたい。

( 拍手する者 多数 )

議長：議案第3号承認されました。

○議案第4号 令和元年度予算(案)

○事務局より「資料-9」の説明

議長：拍手で承認をお願いしたい。

( 拍手する者 多数 )

議長：議案第4号承認されました。

○議案第5号 コミュニティバス1ヶ月フリー乗車券廃止について

○事務局より「資料-10」の説明

長寿会：いまのところ利用がないのですね。ないのだったら当然、廃止しないといけません。

議長：拍手で承認をお願いしたい。

( 拍手する者 多数 )

議長：議案第5号承認されました。

3 その他

事務局：平群町地域公共交通会議設置要綱では任期が2年間となっております。平成30年度から令和元年度の任期ということで、会議構成メンバーについてもこちらから指定させていただいている皆様もおられるということで、その都度、確認させていただきたいと考えております。

また、奈良運輸支局にご意見を伺いたいのですが、平群町で課題となっておりますデマンドタクシーの導入について、いろいろ意見をいただいているところです。デマンド交通を導入する場合の条件はいろいろなパターンがあるかと思いますが、平群町でワンボックスカーを購入して白ナンバーで無料運行することについて、どのような見解を持たれているのでしょうか。



奈良運輸支局：国土交通省のガイドラインでは、地域公共交通会議は、地域の実情に応じた適切な乗合運行の対応等、運賃、料金等に関する事項、自家用有償旅客運送の必要性などに関して、必要となる事項を協議するために設置されるとなっております。自家用有償旅客運送の運用に関しては、まず既存のバス、タクシーといった交通事業者の活用を十分に検討する必要があると示されています。

事務局：運行事業者に委託する形でも変わりはないのでしょうか。

奈良運輸支局：デマンド導入地域は、ほとんどが公共交通の利用者が少なくなってきた地域で、運行効率化のために導入されているケースが多くあります。

導入地域につきましては、既存のバス、タクシー路線や区域で競合しないところ、拠点整備をしてから導入等を検討いただいたほうがいいと話をしております。

新たなサービスを導入すると、すでに交通サービスを提供されているバス、タクシー会社の衰退につながりかねません。町全体の交通ネットワークのあり方について十分にご検討していただく必要があると考えております。

事務局：本町もNCバス路線、コミュニティバス路線、タクシー事業者も運行していますので、そのへんに影響を与えない中でどのようなことができるかを考えていきたいと思えます。

あと、タクシー協会にお聞きしたいのですが、最近、住民から「タクシーが来ない」というお電話が多くなり、何か原因があるのであれば教えていただきたいのですが。

県タクシー協会：まず、平群町内にタクシー事業者がいないということがあります。

もう一つは、事業区域、営業区域があり、平群町は生駒の営業区域に入っています。基本的には、王寺に営業所を構えている事業者が平群町に来て、王寺でない生駒に行くとか平群町の中を回るのは法的にできません。こちらでタクシーを呼んでいただく場合は生駒交通、近鉄、飛鳥など生駒郡エリアの事業者にかけてもらわざるを得ないのです。距離的には王寺が近いという気もしますが、対応ができていません。

近鉄タクシー：斑鳩町の法隆寺前に営業所を構えておりましたが、6月3日に廃止し、現在は生駒駅前にある生駒営業所、大和郡山も生駒交通圏になり、法律上、そのどちらかから迎えにあがることになっております。お電話をいただきましても、「ちょっと時間がかかります」という案内になり、「それなら他社さんに」というのが当社の現状になっております。

議長：昔は平群駅でタクシーが待機されていたがいまはないです。全国的にタクシードライバー不足、高齢化問題で運行できないと聞いていますが、奈良県でも同じですか。

近鉄タクシー：当社に限らず、ほかの会社でも高齢化、人手不足となっており、タクシー車両はあるが、人がいないので動かせないという状況は全国的に起こっています。

タクシーの電話受付は朝6時から深夜の2時までにしております。特に早朝は早い者勝ちとなってしまう、限られた台数ですので、行けるときはお受けしますが、お断りしている場合も多いかと思えます。

県タクシー協会：政府の「働き方改革」で、各事業者もドライバーが長時間労働にならないように工夫しながらやっています。利用される方にはご迷惑な部分も多々ありますが、そういう時代の流れ、人手不足もあります。各事業者も努力しながら、少しでも利用者の方の不便がないようにやっておりますのでご理解いただければありがたいと思えます。

長寿会：合理化や人手不足に対応するために、数の少ないところに配置されるのはいいことだと思います。同時に垣根も取り払って、公共交通であっても利用者がちゃんと利用できるように、それなりの交通網なりデリバリーを考えるのは当然だと思いますが。

県タクシー協会：おっしゃっている意味は十分にわかります。時間帯を含めて利用者が利用しやすいようにすべきなのですが、現状では事業者は人的なものも含めて、厳しい状況の中でやっています。いまの現状ではご要望に応えるまでにはなっていませんが、だからといって事業者はしなくてもいいという考えでいるわけではないということをご理解いただければと思います。

長寿会：生駒で対応できなければ、王寺で行ったほうが本当は近いわけです。その区域の修正をやるということをお考えにならないのですか。

県タクシー協会：区域はおっしゃるとおりだと思います。そこは、業界だけでどうこうというものではありませんので、国の施策などもありますので、行政に対しては、そういう利用者の方の利便を考えて、今後、要望していかないといけないと考えております。

ボランティア：ルート改善のところで、3人の方から若葉台のほうにも乗り入れるバスがほしいという要望があります。中間から上のところはバスが走っていません。

バスルートの変更を希望する場合、自治会が検討したら町のほうに申請して言っていただけるということになるのですか。

また、近鉄電車が15分か20分に1本に変わられたが、それに伴って平群駅のところに着いたとたんにNCバスが出るということに関して、皆さん、かなりおっしゃっています。この中で、そのあたりの検討をぜひともしていただきたいと思います。

NCバス：若葉台ですが、現在、ほとんどご利用がございません。この路線は年間数千万円の赤字です。住民の皆様方の貴重な移動手段を確保していかないといけないという中で、コミュニティバスも含め、町と路線維持について協議をさせていただいています。便数維持にも努めているのですが、近大線はお客様にそこそこ乗っていただいています。平群住宅線では1便平均6名ぐらいのご乗車しかないのが現状です。自助努力の中でそれをするとするのはなかなか難しい状況にあるのが現実です。

自治会の方も含めて、もう少し利用促進をしていただければと思います。

ボランティア：また自治会のほうで話し合いをさせていただきます。

NCバス：電車の接続は、近鉄ダイヤ改正の時期に、到着予定時間を私どもは聞きます。それに合わせた乗り継ぎにするのですが、近鉄電車が遅れると、駅員の方から知らせていただかない限りわからない。乗務員も自分の持ちダイヤが決まっていますし、労働時間の問題もあります。そのあたりは近鉄とうちのほうでダイヤ改正のときにお話があるのか、うちからの提案になるのかわかりませんが、町も入っていただいて声をあげていただいたらと思っています。

事務局：若葉台の場合、平成17、18年当時、自治会と協議して上と下を分けたような形でやるのも一つの方法ということで合意をもらい、路線を変更したという経緯もございます。

緑ヶ丘についても、利便性を考えて、地元とNCバスが協議した上で東山へ行くルートになりました。椿台の中へ入るといった話もありましたが、反対意見もあり、昔のままのルー

トで走っています。

地域から要望が上がってきたら、町は伝えて協議はしますけれども、民間企業ですので、採算というのは大きく影響してくるところではないかと思います。

6月議会でも路線バスについての意見がかなりあり、菊美台の子どもが平群北小学校に通う場合、乗り換えをせずに行けないかというご意見をいただいております。きちっと文書が上がってきたら、NCバスとも協議をさせていただきたいと考えております。

信貴山の子どもが平群南小学校に行く場合も、通学の時間帯が合わないので何とかできないかと要望が出ています。奈良交通の路線になると聞いていますが、改善できないものか、教育委員会とともに協議していきたいと思います。今日はそういう要望があるということのご紹介だけをさせていただきます。

以 上